

DIGITAL PIANO

# ARIUS

YDP-165

YDP-145

YDP-S55

YDP-S35

## 取扱説明書

ご使用の前に必ず4～8ページの「安全上のご注意」をお読みください。

組み立て説明については巻末をご参照ください。

基本編

応用編

資料

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この楽器は、高品位な音とタッチで演奏をお楽しみいただける電子ピアノです。  
この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、  
本書をよくお読みになってからご使用ください。

また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

## 取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

### 冊子マニュアル

#### • 取扱説明書(本書)

この楽器の機能や使い方を説明しています。

### 電子マニュアル

#### • クイックオペレーションガイド

ボタンや鍵盤に割り当てられた機能の一覧表です。こちらのQRコードから直接ダウンロードできます。



[https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/ydp-165\\_s55/](https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/ydp-165_s55/)

#### • スマートデバイス接続マニュアル

スマートフォンやタブレット端末などと接続する方法を説明しています。

#### • コンピューターとつなぐ

この楽器とコンピューターを接続する方法や、MIDIデータを送受信する方法などを説明しています。

#### • MIDIリファレンス

この楽器のMIDIに関する資料を掲載しています。

上記のマニュアルは、以下ウェブサイトの「取扱説明書」のページからご覧いただけます。製品名などを入力して、検索してください。

#### サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

## 付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書)×1
- クラシック名曲50選(楽譜集)×1
- 電源アダプター×1
- 電源コード×1 (YDP-165、YDP-S55のみ)
- ヘッドホン×1 (YDP-165、YDP-145のみ)
- イス×1 (YDP-165、YDP-145のみ)
- 保証書×1
- 製品登録のご案内×1



### スマートデバイスアプリ 「スマートピアニスト」

「スマートピアニスト」(無料)を使うと、  
スマートデバイスで音色選択やメトロノーム

などを直感的に操作したり、譜面を表示したりできます。  
詳しくは、下記ウェブサイトの「スマートピアニスト」の  
ページでご確認ください。

<https://jp.yamaha.com/kbdapps/>

楽器とスマートデバイスの接続については、「スマートピアニスト」の接続ウィザードで、使用環境に応じた接続方法を確認できます。接続ウィザードを開始するには、「スマートピアニスト」の画面左上の「」(メニュー)をタップしてメニュー画面を開き、「楽器」→「接続ウィザードを開始する」を順にタップします。

#### NOTE

この楽器は、無線接続には対応していません。スマートピアニストとの接続方法の選択では、「ケーブル」をお選びください。

# 目次

取扱説明書について.....	2
付属品(お確かめください).....	2
安全上のご注意.....	4
各部の名称と機能.....	10

## 基本編

---

ご使用前の準備.....	12
キーカバーを開ける/閉める (YDP-165, YDP-145).....	12
譜面立てを使う(YDP-165, YDP-145).....	12
キーカバーと譜面立てについて (YDP-S55, YDP-S35).....	13
電源を入れる/切る.....	14
オートパワーオフ機能.....	15
鍵盤の操作音の設定.....	15
音量制限機能.....	15
ヘッドホンを使う.....	16
ピアノとして演奏する.....	17
インテリジェント・アコースティック・コントロール (IAC)を使う.....	17
ペダルを使う.....	18
バーチャル・レゾナンス・モデリング ライト(VRM Lite)の設定.....	19
鍵盤のタッチ感度を変える.....	19
メトロノームを使う.....	20

## 応用編

---

音色を楽しむ.....	21
音色を選ぶ.....	21
デモ曲を聞く.....	22
音に残響を付ける(リバーブ).....	23
キー(調)を変える(トランスポーズ).....	24
音の高さを微調整する(チューニング).....	24
2つの音色を重ねる(デュアル).....	25
2人で一緒に弾く(デュオ).....	26

曲(ソング)を再生する、練習する.....	27
クラシック名曲50選/レッスン曲を聞く.....	27
パートを指定して片手練習する.....	28
最初の発音からすぐにスタートする (クイックプレイ).....	28
演奏を録音する.....	29
演奏を録音する.....	29
録音済みのユーザーソングの設定を変える.....	30
録音した演奏を消去する.....	30

## スマートデバイスやコンピューターと 接続して使う.....

スマートデバイスアプリを使う.....	31
オーディオデータを再生/録音する (USBオーディオインターフェイス機能).....	31

## データのバックアップと初期化.....

電源を切ったときに記憶されるデータ.....	32
初期化する.....	32
楽器のバージョンを確認する.....	32

## 資料

---

困ったときは.....	33
組み立て方.....	34
組み立てに関する注意.....	34
YDP-165, YDP-145の組み立て方.....	35
YDP-S55, YDP-S35の組み立て方.....	38
仕様.....	41
索引.....	43
ソング一覧.....	44
保証とアフターサービス.....	45
クイックオペレーションガイド.....	巻末

# 安全上のご注意

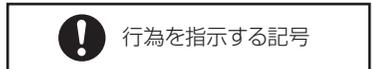
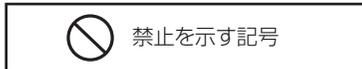
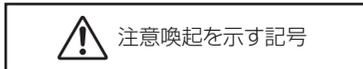
ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

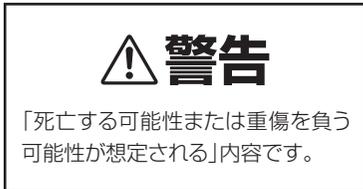
## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



## ■ 「警告」「注意」「ご注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



## 警告

### 電源



(YDP-165, YDP-S55) 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。感電の原因になります。



電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



電源アダプターは、必ず指定のもの(42ページ)を使用する。火災、やけど、または故障の原因になります。



(YDP-165, YDP-S55) 電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。火災、やけど、または故障の原因になります。



電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。ショートして火災や感電の原因になります。



電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から遮断されません。



禁止

たこ足配線をしない。

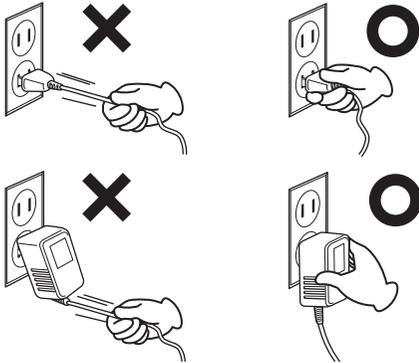
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

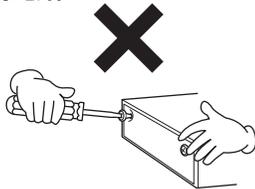
## 分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。



## 水に注意



禁止

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。
- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 電源アダプターは、室内専用のため屋外では使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

## イス (YDP-165, YDP-145)



禁止

イスを滑りやすい床面や平らでない床面で使用しない。

イスが転倒して、お客様やほかの方々けがをすおそれがあります。



禁止

イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。

イスが転倒したり壊れたりして、お客様けがをする原因になります。



禁止

イスには2人以上ですわらない。

イスが転倒したり壊れたりして、お客様けがをする原因になります。



必ず実行

イスのネジを定期的に締め直す。

イスを長期間使用すると、イスのネジがゆるみ、お客様けがをする原因になります。ネジがゆるんだ場合は、工具で締め直してください。



必ず実行

小さなお子様の後方への転倒に注意する。

背もたれがないため、後方へ転倒してけがをすおそれがあります。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード/プラグが破損した場合
- 製品から異常なおいや煙が出た場合
- 製品の内部に水や異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理相談センターに点検や修理をご依頼ください。

# ⚠ 注意

## 組み立て



必ず実行

本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。また、定期的にネジやボルトを締め直す。

破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

(YDP-S55, YDP-S35) 転倒防止用金具は、必ず取りつける(38ページ)。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかがをしたりする原因になります。

## 設置



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



必ず実行

地震のときは、本製品から離れる。

地震による強い揺れで動いたり転倒したりして、けがをされるおそれがあります。



必ず実行

本製品を持ち上げて運ぶ場合は、必ず2人以上で行う。

本製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めるおそれがあります。また、本製品が落下してけがや破損の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々か転倒したりするおそれがあります。

## 接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

## 取り扱い



禁止

キーカバーや本製品のすき間に手や指を入れない。また、キーカバーで指などはさまないように注意する。

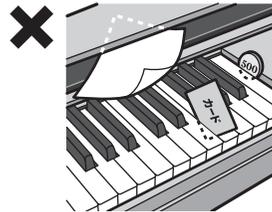
お客様がけがをされるおそれがあります。



禁止

本製品のキーカバーやパネル、鍵盤のすき間/開口部から金属や紙片などの異物を入れない。

火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

(YDP-S55, YDP-S35)キーカバーを閉めるときは無理な力を加えない。

キーカバーには「ソフトランディング」機構が付いており、キーカバーがゆっくり閉まるようになっています。閉めるときにキーカバーに無理な力を加えると「ソフトランディング」機構が破損し、手指をはさんでけがをされるおそれがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々かけがをしたりする原因になります。



禁止

小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。

聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。





必ず実行

本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電の原因になります。

## イス (YDP-165)



禁止

高低自在イスの場合、イスにすわったままでイスの高さを調節しない。

高低調節機構に無理な力が加わり、高低調節機構が壊れたりお客様がけがをしたりする原因になります。



禁止

イスの可動部のすきまに手を入れない。

手をはさんでけがをすることがあります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(電源ランプが消えている)でも微電流が流れています。[⏻](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

## ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5°C~40°Cの範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。
- イスの脚で床やたたみを傷つけないよう注意してご使用ください。イスの下にマットを敷くなどして、床やたたみを保護されることをおすすめします。

### ■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしぼってご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- 極端に湿度が変化すると、本体表面に水滴がつく(結露すること)があります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。
- ペダルは一般的なアコースティックピアノ同様、経年変化によって変色することがあります。その際はピアノ用コンパウンドを楽器店などで買い求めいただき、使用上の注意をよくご確認のうえご使用ください。

### ■ データの保存に関する注意

- この楽器の一部のデータ(32ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

## お知らせ

### ■ データの著作権に関するお願い

この製品に搭載されている「コンテンツ」\*1の著作権は、ヤマハ(株)もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」\*2することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行ない、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

\*1:「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

\*2:「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

### ■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

### ■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

### ■ 調律について

- 調律の必要はありません。電源を入れるといつでも正しいピッチ(音の高さ)でお使いいただけます。

### ■ 廃棄に関するお知らせ

- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

### ボタン名

本書では、パネル上のボタンの名前は角括弧[ ]で表示し、「ボタン」を省略しています(例えば、PLAYボタンは[PLAY]と表記しています)。

機種名（品番）、製造番号（シリアルナンバー）、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

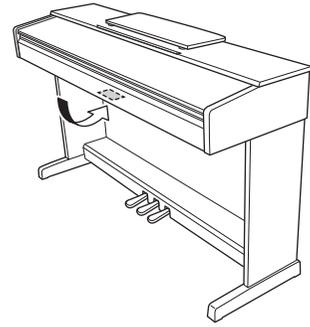
**機種名**

---

**製造番号**

---

(1003-M06 plate bottom ja 01)

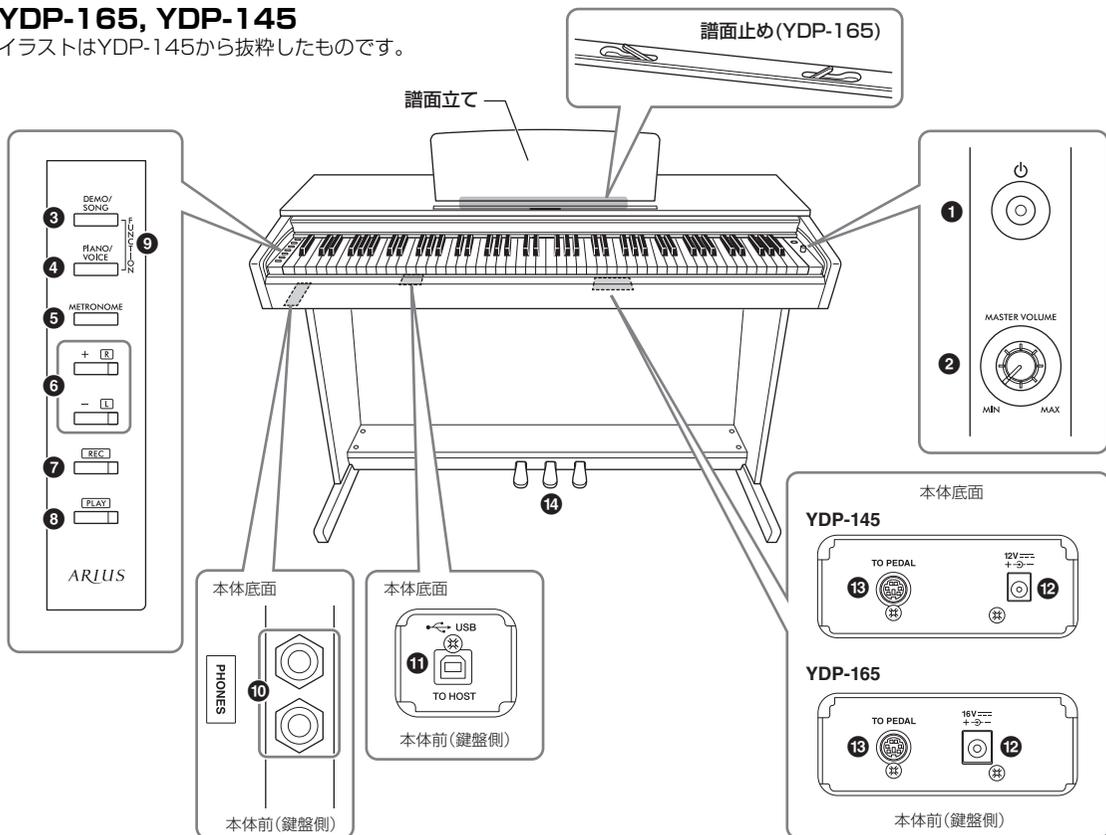


銘板は、製品の底面にあります。

# 各部の名称と機能

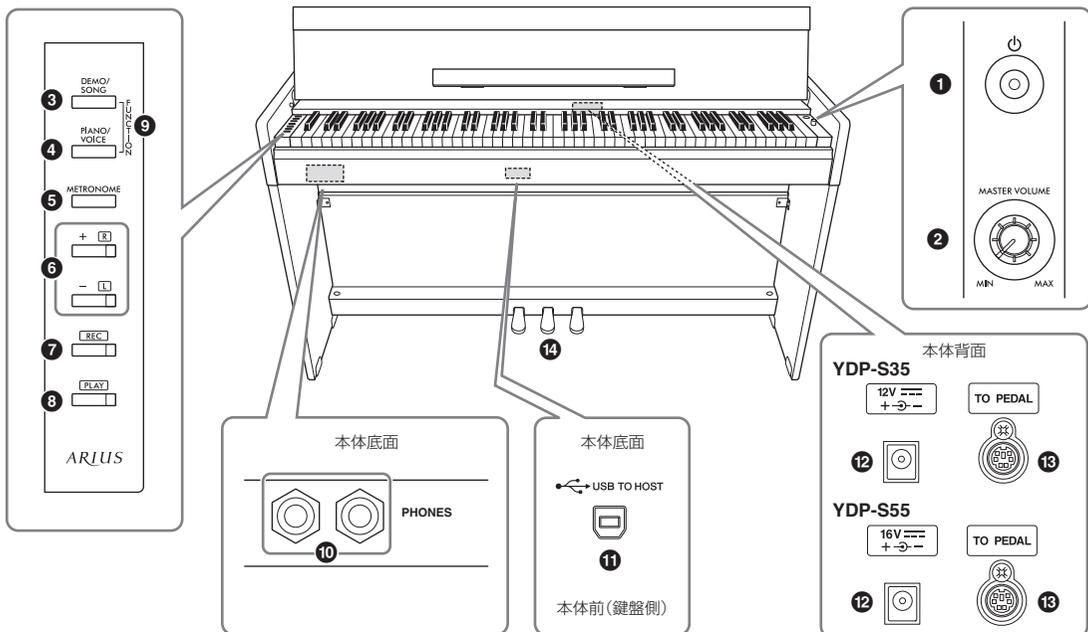
## YDP-165, YDP-145

イラストはYDP-145から抜粋したものです。



## YDP-S55, YDP-S35

イラストはYDP-S55から抜粋したものです。



- ① [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチ (14ページ)  
電源のオン/スタンバイを切り替えます。

- ② [MASTER VOLUME] つまみ (15ページ)  
楽器全体の音量を調節します。



**⚠ 注意**

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

- ③ [DEMO/SONG] ボタン (22、28ページ)  
音色ごとのデモ曲やクラシック名曲50選、レッスン曲を聞くことができます。
- ④ [PIANO/VOICE] ボタン (21、23、25ページ)  
「CFXグランド」をはじめとした音色を選択したり、2つの音色を重ねたり、リバーブタイプの選択に使用します。
- ⑤ [METRONOME] ボタン (20ページ)  
メトロノームの機能を利用できます。
- ⑥ [+R]、[-L] ボタン (20、21、27、28ページ)  
・音色を順次選択します。  
・ソング再生中は、ソングを順次選択したり、[PLAY] を押したまま右手パート、左手パートを個別にオン/オフします。  
・メトロノーム再生中は、テンポを増減します。
- ⑦ [REC] ボタン (29ページ)  
自分の演奏を録音します。
- ⑧ [PLAY] ボタン (29ページ)  
録音した演奏を再生します。
- ⑨ [FUNCTION] (15、24ページ)  
[DEMO/SONG] と [PIANO/VOICE] を同時に押したまま、指定した鍵盤を押すことによりオートパワーオフ機能やトランスポーズなどの設定ができます。

- ⑩ [PHONES] 端子 (16ページ)  
ヘッドホンを接続します。

**ヘッドホンハンガー (YDP-165のみ)**

YDP-165では、ヘッドホンハンガーにヘッドホンをかけることができます。ヘッドホンハンガーの取り付け方法は、37ページをご参照ください。

**ご注意**

ヘッドホンハンガーにヘッドホン以外のものを掛けしないでください。本体またはヘッドホンハンガーが破損する場合があります。

- ⑪ [USB TO HOST] 端子 (31ページ)  
コンピューター、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと接続します。
- ⑫ DC IN 端子 (14ページ)  
付属の電源アダプターを接続します。
- ⑬ [TO PEDAL] 端子 (37、40ページ)  
ペダルコードを接続します。
- ⑭ ペダル (18ページ)  
アコースティックピアノのように、音を響かせたり音質をやわらかくしたいときに使用します。

## ご使用前の準備

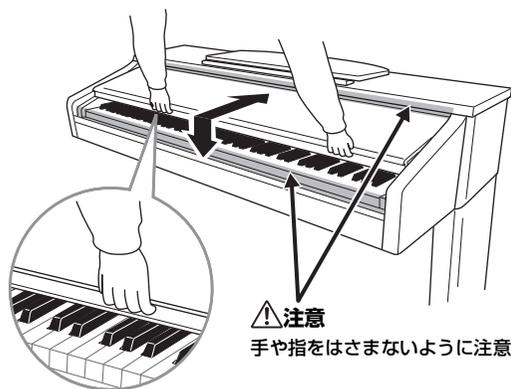
### キーカバーを開ける/閉める (YDP-165, YDP-145)

#### 開けるとき

少し持ち上げて、奥へ押し込みます。

#### 閉めるとき

手前に引いて、静かに降ろします。

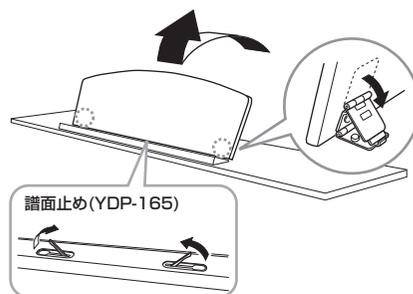


#### 注意

- キーカバーを開閉するときは、両手で静かに行ない、途中で手を離さないでください。また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、キーカバーの端と本体の間に手や指をはさまないようにご注意ください。
- キーカバーを開けると、キーカバーの上に金属や紙片などを置かないでください。本体の内部に落ちて取り出せなくなり、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。

### 譜面立てを使う (YDP-165, YDP-145)

#### 立てるとき



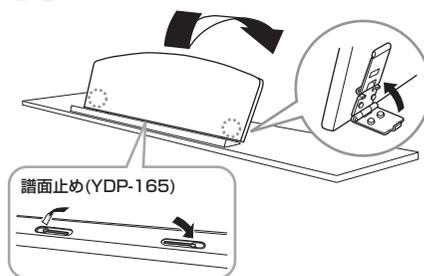
1. 譜面立てを、止まる位置まで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を下ろします。
3. 金具が固定される位置まで、譜面立てを戻します。

(YDP-165) 譜面止めを使うと、譜面立てに置いた楽譜のページを固定できます。

#### 注意

金具が固定されていない位置で譜面立てを使用したり、放置したりしないでください。また、譜面立てを立てたり倒したりするときは、途中で手を離さないでください。

#### 倒すとき



(YDP-165) 譜面止めを使っている場合は、譜面止めを下ろしてから、以下の手順で譜面立てを倒します。

1. 譜面立てを、止まる位置まで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を上げます。
3. 譜面立てに手を添えて、ゆっくり戻します。

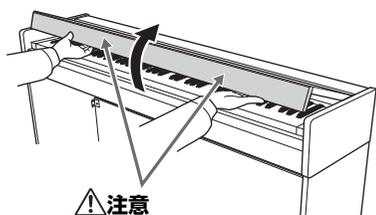
## キーカバーと譜面立てについて (YDP-S55, YDP-S35)

### ⚠注意

キーカバーを開閉するときは、両手で静かに行ない、途中で手を離さないでください。また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、キーカバーの端と本体の間に手や指をはさまないようにご注意ください。

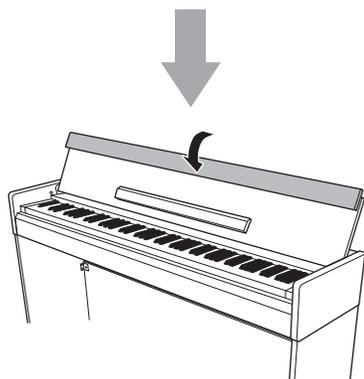
### キーカバーを開ける

1. 手前のくぼみに手をかけ両手でカバーをゆっくりと持ち上げます。
2. キーカバーの上側の部分を手前に倒します。

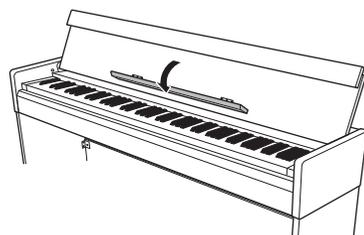


### ⚠注意

手や指をはさまないように注意してください。



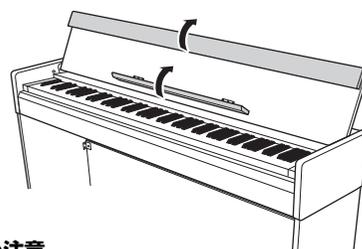
3. 譜面立てを手前に倒します。



### キーカバーを閉める

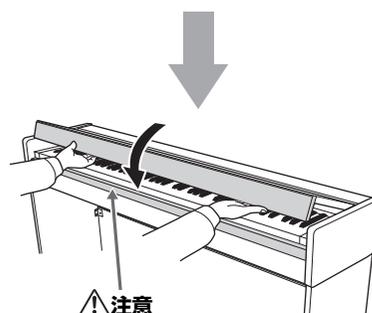
1. 譜面立てをキーカバー側に戻します。
2. キーカバー上側の部分を下から持ち上げ手前に立てます。
3. キーカバーを持って手前にゆっくりと倒します。

キーカバーには「ソフトランディング」機構が付いており、キーカバーがゆっくり閉まるようになっています。



### ご注意

譜面立ては必ずキーカバー側に戻してからキーカバーを閉めてください。キーカバー上側部分は、手前に立ててからキーカバーを閉めてください。



### ⚠注意

手や指をはさまないように注意してください。

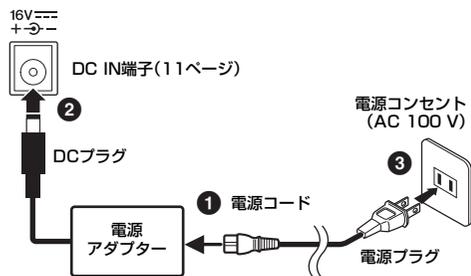
### ⚠注意

キーカバーを閉めるときは無理な力を加えないでください。閉めるときにキーカバーに無理な力を加えると「ソフトランディング」機構が破損し、手指を挟んでけがをするおそれがあります。

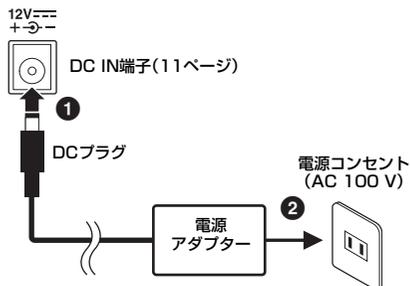
## 電源を入れる/切る

### 1. 図の順序で電源アダプターを接続します。

YDP-165, YDP-S55



YDP-145, YDP-S35



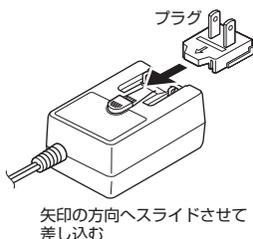
電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行ってください。

#### ⚠ 警告

- 電源アダプターは、必ず指定のもの(42ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。
- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### プラグ部分が外れるタイプの電源アダプターの場合

電源アダプターのプラグは外さないでください。外れてしまった場合は、内部の金属部分に手を触れないように注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。



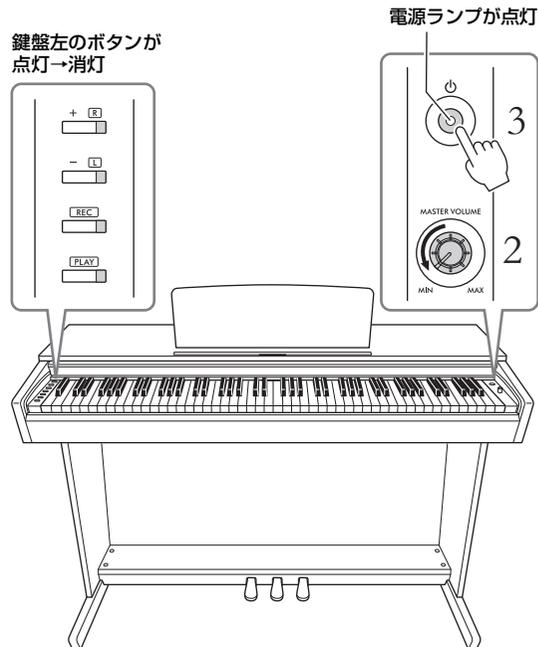
#### ⚠ 警告

- 電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグを取り付ける際、内部の金具部分は触らないでください。また異物が入らないようご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。

### 2. [MASTER VOLUME]つまみで音量を最小(MIN)にします。

### 3. 鍵盤右の[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。

鍵盤左のボタンのランプが点灯し、消灯すると楽器が起動します。



### 4. もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを1秒以上押して、電源を切ります。

電源ランプが消灯します。

#### ⚠ 注意

電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

#### ご注意

電源を入れてから、楽器が完全に起動するまで、楽器を操作(鍵盤やボタンを押す、ペダルを踏むなど)しないでください。楽器が誤動作する原因になります。

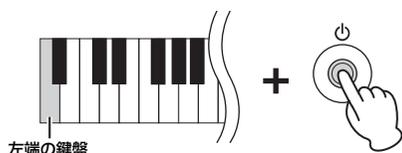
## オートパワーオフ機能

電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐための機能です。この機能により、30分何も操作しないと自動的に電源が切れます。

初期設定: 有効

### オートパワーオフ機能の簡単解除

左端の鍵盤を押したまま[♭] (スタンバイ/オン) スイッチを押して電源を入れます。[REC]ランプが3回点滅し、オートパワーオフ機能が無効になります。



### オートパワーオフ機能の有効/無効を切り替える

[DEMO/SONG] と [PIANO/VOICE] を同時に押したまま A#0 (有効) または A0 (無効) の鍵盤を押します。



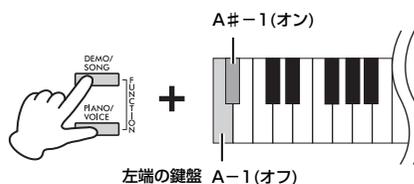
## 鍵盤の操作音の設定

ボタンと鍵盤を使って設定を変更したときに、操作音(クリック音、またはオン/オフや数値の読み上げ音声)が鳴ります。この操作音は必要に応じて、オン(鳴らす)、オフ(鳴らさない)の設定ができます。

初期設定: オン

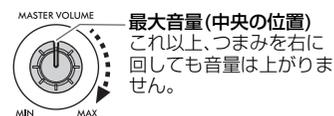
### 操作音のオン/オフの設定

[DEMO/SONG] と [PIANO/VOICE] を同時に押したまま、A#-1 (オン) または A-1 (オフ) キーを押します。



## 音量制限機能

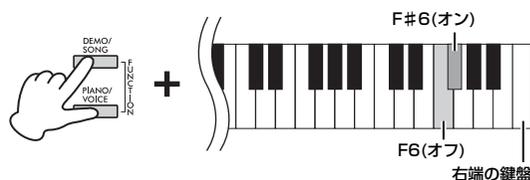
最大音量を制限する機能です。この機能をオンにすると、中央の位置から [MASTER VOLUME] つまみを右に回しても、音量が変わりません。ヘッドホン使用時の最大音量を制限して聴覚を保護したり、スピーカーから意図せず大きな音を出したりするのを防ぐことができます。



初期設定: オフ

### 音量制限のオン/オフの設定

[DEMO/SONG] と [PIANO/VOICE] を同時に押したまま F#6 (オン) または F6 (オフ) の鍵盤を押します。



#### ご注意

音量制限機能をオンからオフにしたときに、[MASTER VOLUME] つまみの位置が中央より右にあると、大音量で出力されます。[MASTER VOLUME] つまみの位置が中央より左にあることを確認してからオフにしてください。

## ヘッドホンを使う

この楽器には<sup>フォーンズ</sup>[PHONES]端子が2つあるので、ヘッドホンを2本接続して2人で演奏を楽しめます。初期設定では、どちらかの[PHONES]端子にヘッドホンを接続すると、自動的にスピーカーから音が出なくなります。



**⚠ 注意**  
大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

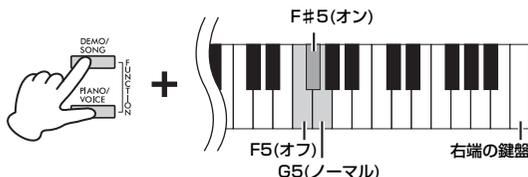
### NOTE

付属品以外のヘッドホン(変換プラグ付き)をご使用の場合、ヘッドホンのプラグを抜くときに、変換プラグも一緒に抜いてください。変換プラグが端子に残ると楽器のスピーカーから音が出ません。

## スピーカーのオン/オフの設定

楽器本体のスピーカーから音を出す(オン)、出さない(オフ)を設定できます。

[DEMO/SONG]と<sup>ピアノ</sup>[PIANO/VOICE]<sup>ボイス</sup>を同時に押したままF5～G5の鍵盤を押します。



初期設定: ノーマル

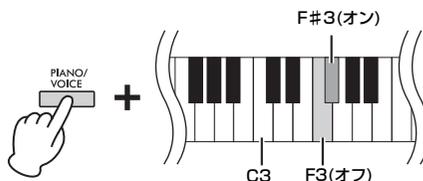
オフ (F5鍵盤)	常にスピーカーから音が出ません。
オン (F#5鍵盤)	ヘッドホンが接続されていても、常にスピーカーから音が出ます。
ノーマル (G5鍵盤)	ヘッドホンが接続されると、スピーカーから音が出なくなります。

## ヘッドホンでも自然な音の広がりを再現する (ステレオフォニックオプティマイザー)

ステレオフォニックオプティマイザーは、ヘッドホンをつけてピアノ音色(21ページ)を弾くときに、アコースティックピアノの前に座って弾いているかのような音の広がりを再現する機能です。通常、ヘッドホンでは、音が耳のすぐそばで鳴っているように聞こえますが、この機能がオンの場合は、ピアノ本体から音が鳴っているような自然な距離感を得られます。

初期設定: オン

<sup>ピアノ</sup>[PIANO/VOICE]<sup>ボイス</sup>を押したまま、F#3鍵盤を押すとオン、F3鍵盤を押すとオフになります。



### NOTE

ピアノ以外の音色には、ステレオフォニックオプティマイザーの効果はかかりません(21ページ)。

# ピアノとして演奏する

## インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC)を使う

インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC)とは、楽器の全体音量の大小に応じて、自動的にスピーカーやヘッドホンの音質を補正する機能です。音量が小さい場合でも、低音や高音がしっかりと聞こえるようになります。特にヘッドホン使用時には、全体音量を過度に上げることなく、耳への負担を抑えることができます。

初期設定:  
オン

### IACのオン/オフの設定

[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、C#2(オン)またはC2(オフ)鍵盤を押します。



### IACのかかり具合を調整する

[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、D2 (1ずつ下げる)またはE2 (1ずつ上げる)鍵盤を押して補正のかかり具合を調整します。



IACのかかり具合の値が大きいほど、音量が小さいときの低音や高音が、よりしっかりと聞こえるように補正されます。

設定範囲:  
-3 ~ +3  
初期設定:  
0

## ペダルを使う

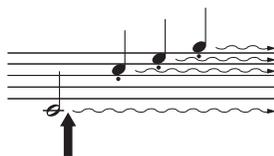
### 右のペダル(ダンパーペダル)

このペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても弾いた音は長く響きます。また、ピアノの音色を選択して踏んだ場合は、VRM Lite (19ページ)の効果によりリアルな共鳴音(レゾナンス)を付加できます。

このペダルはハーフペダル機能に対応しています。

#### ハーフペダル機能とは

ペダルの踏み加減で音の伸び具合が調節できる機能です。ペダルを踏みこむほど音が長く伸びます。ペダルを踏んで音が響きすぎたとき、踏み込んだ状態からペダルを少し戻して音の響きを抑える(音の濁りを減らす)ことができます。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く。

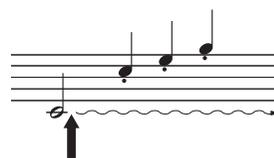
#### NOTE

ペダルが効かない場合、ペダルコードのプラグが[TO PEDAL]端子に確実に差し込まれているか確認してください(40ページ)。

### まん中のペダル(ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。

オルガンやストリングスの音色(21ページ)では、ソステヌートペダルを踏むと、音が減衰せず、踏んでいる間鳴り続けます。



ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く。

### 左のペダル(ソフトペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくします。ペダルを踏む前に押さえていた鍵盤の音には効果はかかりません。

ただし、ジャズオルガンの音色(21ページ)を選ぶとロータリースピーカーの回転の速い/遅いが切り替わり、ビブラフォンの音色(21ページ)を選ぶとビブラートのオン/オフ機能に切り替わります。

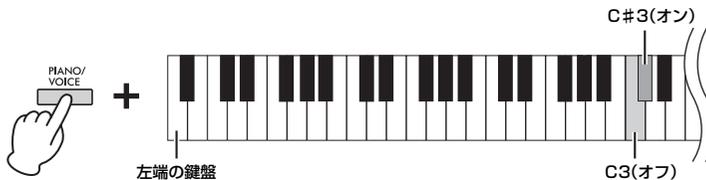
## バーチャル・レゾナンス・モデリング ライト (VRM Lite) の設定

VRM Lite (バーチャル・レゾナンス・モデリング ライト)とは、アコースティックピアノの豊かな共鳴音を仮想的な楽器(物理モデル)の上で忠実に再現し、よりアコースティックピアノに近い響きを作り出す機能です。鍵盤やペダルの状態に合わせて、瞬間瞬間の共鳴音を作り出しているため、鍵盤を押さえるタイミングや、ペダルを踏むタイミングと深さを変えることで、多彩な響きが得られます。

VRM Liteの効果は、ピアノの音色(21ページ)のみにかかります。

### VRM Liteのオン/オフの設定

[PIANO/VOICE]<sup>ピアノ</sup>を押したまま、C3(オフ)またはC#3(オン)鍵盤を押します。

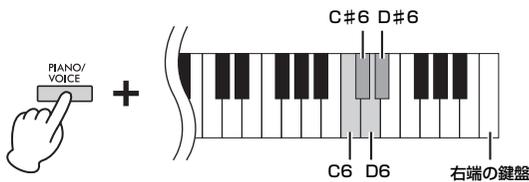


初期設定:  
オン

## 鍵盤のタッチ感度を変える

鍵盤を弾く強さを変えたときの、音の強弱の付き方(タッチ感度)を、4種類の中から選びます(鍵盤自体の重さは変わりません)。

[PIANO/VOICE]<sup>ピアノ</sup>を押したままC6~D#6の鍵盤を押して、タッチ感度を設定します。



#### NOTE

オルガンなど一部の音色では、タッチによる音の強弱は付きません。

#### 初期設定:

C#6 (ミディアム)

### タッチ感度リスト

鍵盤	タッチ感度	説明
C6	ソフト	軽いタッチで大きい音が出ます。比較的音のつぶがそろいやすいタッチです。
C#6	ミディアム	標準的なタッチです。
D6	ハード	大きな音を出すためには、より強いタッチで弾いてください。
D#6	フィックス	タッチの強弱にかかわらず一定の音量が出ます。

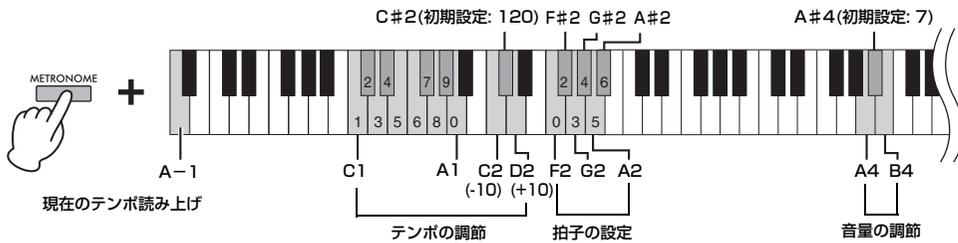
## メトロノームを使う

この楽器は、メトロノームを備えています。ご活用ください。

1. [METRONOME]<sup>メトロノーム</sup>を押すと、メトロノームが鳴り出します。
2. [METRONOME]を押すと、メトロノームは止まります。

## メトロノームの設定

[METRONOME]を押したままグレーの鍵盤または[+R]/[-L]のどれかを押すことで、メトロノームの設定ができます。



### 現在のテンポの値を音声(英語)で読み上げる

[METRONOME]を押したままA-1鍵盤(左端の鍵盤)を押します。

### 拍子の設定

[METRONOME]を押したままF2~A#2鍵盤のどれかを押します。

たとえば、3 (G2)に設定すると「チーンカチカチ」となります。

初期設定は拍子なし(F2)です。この場合すべての拍で「カチカチ」と鳴ります。

### テンポの調節

メトロノームを5~280 (1分間の拍数)の範囲で設定できます。

- **テンポを1ずつ上げる/下げる**  
[METRONOME]を押したまま[+R]または[-L]を押します。  
メトロノームが鳴っているときは、[+R]または[-L]を押してテンポを1ずつ上げたり下げたりできます。
- **テンポを10ずつ上げる/下げる**  
[METRONOME]を押したままD2 (上げる)またはC2 (下げる)鍵盤を押します。
- **テンポを数値入力する**  
[METRONOME]を押したままC1~A1鍵盤のどれかを押して、数字を設定します。  
2桁までの数値を入力して[METRONOME]から指を離すか、3桁の数値を入力すると、数値が確定します。
- **テンポを初期設定(120)に戻す**  
[METRONOME]を押したまま、[+R]と[-L]を同時に押すか、C#2鍵盤を押します。  
メトロノームが鳴っているときは、[+R]と[-L]を同時に押すと、テンポを初期設定に戻せます。

### 音量の調節

[METRONOME]を押したままA4 (1ずつ下げる)またはB4 (1ずつ上げる)鍵盤を押して音量を設定します。初期設定に戻すには[METRONOME]を押したままA#4鍵盤を押します。

鍵盤	拍子
F2	0 (拍子なし)
F#2	2
G2	3
G#2	4
A2	5
A#2	6

#### NOTE

デモ曲(22ページ)とソング(27ページ)のテンポも、[METRONOME]を押したまま、[+R]/[-L]、または鍵盤を押すことで変更できます。ただし、ソングのテンポは、曲の再生中のみ変更できます。

#### NOTE

テンポの数値入力では、入力した数値を音声(英語)で読み上げます。設定範囲外の数値が入力された場合は操作が無効になります。

設定範囲:

1~10

初期設定:

7

# 音色を楽しむ

## 音色を選ぶ

### CFX グランドを選ぶには

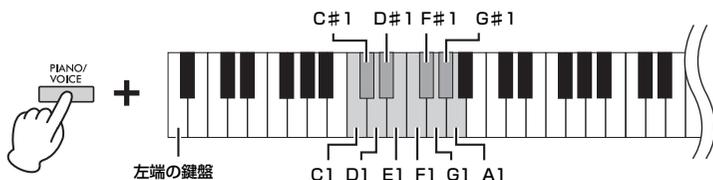
[PIANO/VOICE]<sup>ピアノ</sup>を1回押します。

### ほかの音色を選ぶには

[PIANO/VOICE]を押したあと、[+R]または[-L]を押して、音色を順次切り替えます。

### 特定の音色を直接選ぶには

[PIANO/VOICE]を押したままC1～A1鍵盤のどれかを押します。各鍵盤に割り当てられた音色は、以下のリストをご参照ください。



#### NOTE

音色の特徴をつかむには、音色ごとのデモ曲を聞いてみてください。(22ページ)

#### NOTE

VOICE (ボイス) = 音色 (楽器音)

## 音色リスト

鍵盤	音色名	音色紹介
C1	CFX グランド*	コンサートグランドピアノ CFXからサンプリングされたこの音色は、弱いタッチから強いタッチまでのなめらかな音色変化が表現できます。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
C#1	メロウグランド*	温かみのあるソフトなピアノの音です。バラードの演奏に最適です。
D1	ポップグランド*	ブライトなピアノの音です。クリアに音を目立たせたい曲に最適です。
D#1	ステージ エレピ	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。
E1	DX エレピ	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
F1	ハーブシコード	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによって音量は変わらず、鍵盤を離したときには独特の発音があります。
F#1	ビブラフォン	比較的柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。強く弾くほど金属的な音になります。
G1	パイプオルガン	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
G#1	ジャズ オルガン	歯車回転式電気オルガンの音です。ジャズ、ロックなどの音楽でよく用いられます。
A1	ストリングス	ステレオサンプリングでリアルな響きがする大編成弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。

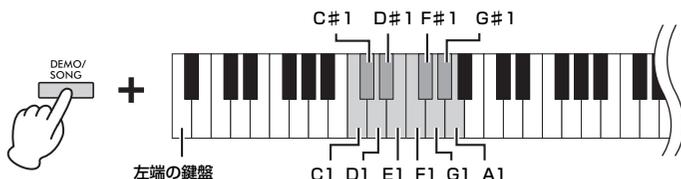
\* ピアノの音色です。

## デモ曲を聞く

この楽器には、音色ごとに1曲ずつデモ曲が入っています。聞いてみましょう。

### 1. [DEMO/SONG]を押します。

今選ばれている音色のデモ曲がスタートします。再生中は[PLAY]のランプがテンポに合わせて点滅します。デモ曲は、選択した音色のデモ曲からデモ曲リストの順に連続して再生されます。特定のデモ曲を選択するには、[DEMO/SONG]を押したままC1～A1鍵盤のどれかを押します。



#### 1曲を繰り返し再生する

[DEMO/SONG]を押したまま、C1～A1鍵盤のどれかを長押しします。操作音(15ページ)が2回鳴ると繰り返し再生が設定され、その曲が連続再生されます。

#### 再生中に曲を切り替える

[+R]または[-L]を押します。

1曲繰り返し再生中にこの操作をすると、次または前の曲が繰り返し再生されます。

### 2. [DEMO/SONG]または[PLAY]を押して、再生をストップします。

[PLAY]のランプが消灯します。

#### NOTE

テンポは、デモ曲の再生中のみ変更できません。テンポの調整方法は、20ページをご覧ください。

## デモ曲リスト

鍵盤	音色名	曲名	作曲者
C1	CFX グランド	ワルツ 第2番 op.34-1 「華麗なるワルツ」	F.F. ショパン
C#1	メローグランド	くるみ割り人形メドレー	P. I. チャイコフスキー
D1	ポップグランド	オリジナル	—
D#1	ステージ エレピ	オリジナル	—
E1	DX エレピ	オリジナル	—
F1	ハーブシコード	チェンバロ協奏曲 第7番 BWV 1058	J. S. バッハ
F#1	ビブラフォン	オリジナル	—
G1	パイプオルガン	オルガン小曲集「神のひとり子なる主キリスト」 BWV 601	J. S. バッハ
G#1	ジャズ オルガン	オリジナル	—
A1	ストリングス	オリジナル	—

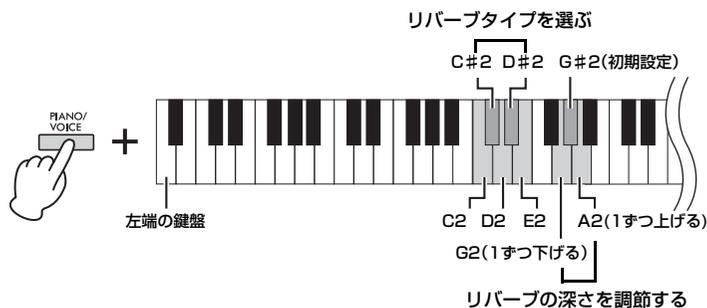
「オリジナル」は、ヤマハのオリジナル曲です。(© Yamaha Corporation)  
「オリジナル」以外のデモ曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

## 音に残響を付ける(リバーブ)

この楽器にはいくつかのリバーブタイプが用意されており、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような残響効果をかけたり、その深さ(かかり具合)を変えることができます。リバーブタイプとその深さは、音色やソングを選択するだけで最適なものが自動で呼び出されます。したがって、通常は設定の必要はありませんが、自由に変更できます。

### リバーブタイプを変更する

[PIANO/VOICE]を押したままC2～E2鍵盤のどれかを押します。



#### NOTE

デュアル(25ページ)のときのリバーブタイプは、音色の組み合わせによって最適なものが1つ自動で呼び出されます。

### リバーブタイプリスト

鍵盤	リバーブタイプ	説明
C2	リサイタルホール	ピアノリサイタル向けの中規模ホールのクリアな響きになります。
C#2	コンサートホール	オーケストラの公演が行なわれる、大きなホールの華やかな響きになります。
D2	サロン	室内楽に適した、宮廷内の広間の落ち着いた響きになります。
D#2	クラブ	ライブハウスやジャズクラブのメリハリのある響きになります。
E2	オフ	リバーブはかかりません。

### 深さ(かかり具合)の調節

数値を上げるとリバーブが深くなり、下げるとリバーブが浅くなります。

[PIANO/VOICE]を押したままG2 (1 ずつ下げる)またはA2 (1 ずつ上げる)鍵盤を押します。

[PIANO/VOICE]を押したままG#2鍵盤を押すと、その音色に最適なリバーブの深さ(初期設定)に戻ります。

#### 設定範囲:

深さ: 0 (効果なし)～20 (深さ最大)

## キー (調) を変える (トランスポーズ)

弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さに半音単位でキー (調) を合わせることができます。この機能をトランスポーズといいます。

たとえばトランスポーズを「+5」に設定すると、「ド」の鍵盤を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「ハ長調」の弾きかたで「ヘ長調」の演奏になります。

### キーを下げる

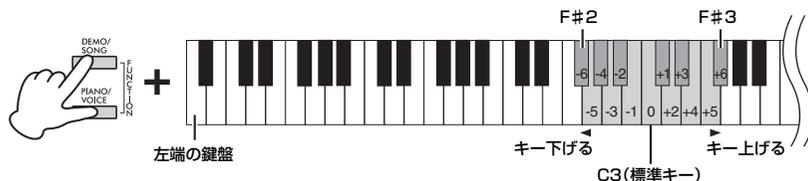
[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、F#2 (-6)~B2 (-1)鍵盤のどれかを押します。

### キーを上げる

[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、C#3 (+1)~F#3 (+6)鍵盤のどれかを押します。

### キーを標準に戻す

[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、C3鍵盤を押します。



### NOTE

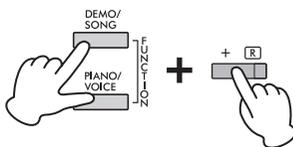
トランスポーズは鍵盤演奏、ソング再生 (27ページ) に有効です。それぞれ別々に異なる数値を設定することはできません。

## 音の高さを微調整する (チューニング)

楽器全体の音の高さを0.2 Hz単位で微調整できます。ほかの楽器との合奏など、音の高さを正確に合わせたい場合に使います。

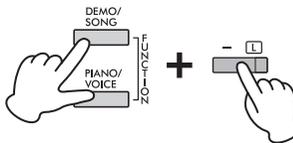
### 音の高さを上げる (約0.2 Hz単位)

[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、[+R]を押します。



### 音の高さを下げる (約0.2 Hz単位)

[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、[-L]を押します。



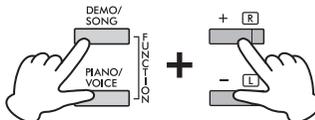
### 音の高さを442.0 Hzに設定する

[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、C#1鍵盤を押します。



### 音の高さを初期設定値 (440.0 Hz) に戻す

[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、[+R]と[-L]を同時に押します。または、[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、C1鍵盤を押します。



### Hz (ヘルツ) とは

音の高さを示す単位です。音の高さは音波の振動数によって決まります。1秒間に何回振動するかという数値の単位がHzです。

### 設定範囲:

414.8~466.8 Hz

### 初期設定:

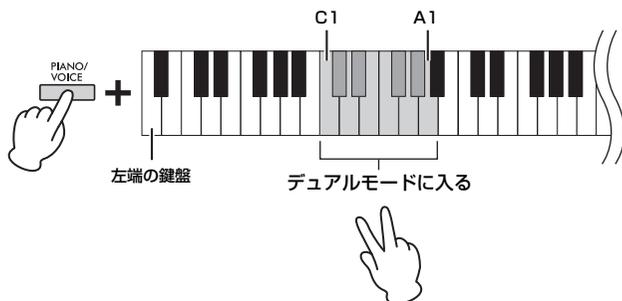
A3=440.0 Hz

## 2つの音色を重ねる(デュアル)

2種類の音色を重ねて鳴らすことができます。重ねて鳴らすことにより、厚みのある音を作り出せます。

### 1. デュアルモードに入ります。

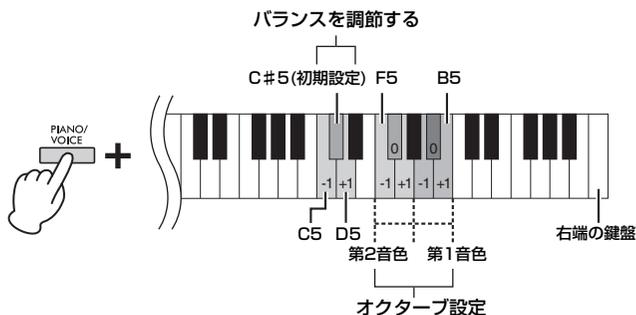
[PIANO/VOICE]<sup>ピアノ</sup>を押したまま、C1～A1鍵盤のうち2つの鍵盤を同時に押して、重ねたい2つの音色を選びます。各鍵盤に割り当てられた音色は、「音色を選ぶ」(21ページ)をご参照ください。



上記の手順で選んだ2つの音色のうち、左側(C1)に近い鍵盤を割り当てられた音色が第1音色、右側(A1)に近い鍵盤を割り当てられた音色が第2音色になります。第1音色と第2音色に同じ音色を割り当ててすることはできません。

#### 各音色のオクターブを上げる/下げる

下図を参考に、[PIANO/VOICE]を押したまま、F5～G5またはA5～B5鍵盤のどれかを押します。例えば、[PIANO/VOICE]を押したままB5鍵盤を2回押すと、第1音色が2オクターブ上がります。初期設定に戻すには、[PIANO/VOICE]を押したままA#5鍵盤(第1音色)またはF#5鍵盤(第2音色)を押します。



#### 2音色の音量バランスをとる

上図を参考に、[PIANO/VOICE]を押したまま、C5 (1ずつ下げる)またはD5 (1ずつ上げる)鍵盤を押します。

設定値が0のとき、両音色は初期設定の音量になります。設定値が+6に近づくほど第1音色の音量が大きくなり、-6に近づくほど第2音色が大きくなります。

### 2. デュアルモードを抜けます。

[PIANO/VOICE]を押すとデュアルモードを抜け、通常の演奏状態に戻ります。

#### NOTE

デュアルとデュオ(26ページ)の機能は同時には使えません。

#### 設定範囲：

-2～0～+2

#### 設定範囲：

-6～(初期設定)～+6

#### 初期設定：

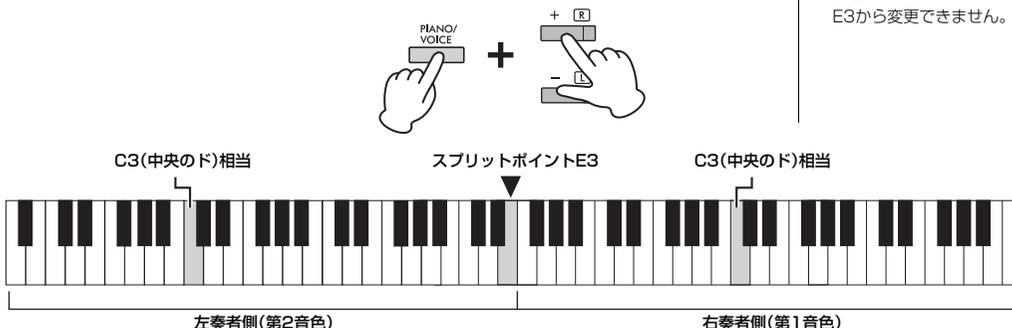
音色の組み合わせにより異なります。

## 2人で一緒に弾く(デュオ)

鍵盤を左右に分けて、同時に2人が同じ音域で演奏できます。1台の楽器で2人同時に演奏したり、2人並んで座り、1人がお手本を弾き、もう1人がそれを見ながら練習する、といった使い方ができます。

### 1. [PIANO/VOICE]を押したまま、[+R]と[-L]を同時に押しま

す。  
E3が鍵盤の境目(スプリットポイント)となり、左奏者側と右奏者側に分かれます。



#### NOTE

- 右奏者側(第1音色)と左奏者側(第2音色)で異なる音色は設定できません。
- デュオのスプリットポイントはE3から変更できません。

### 2. 左側鍵域と右側鍵域に分かれて、2人で演奏しましょう。

#### 左右の鍵域のオクターブを上げる/下げる

デュアルの「各音色のオクターブを上げる/下げる」(25ページ)と同じ操作です。  
デュオの場合、左側鍵域が第2音色、右側鍵域が第1音色になります。

#### 左右の鍵域の音量バランスをとる

デュアルの「2音色の音量バランスをとる」(25ページ)と同じ操作です。  
設定値が+6に近づくほど右側鍵域の音量が大きくなり、-6に近づくほど左側鍵域が大きくなります。

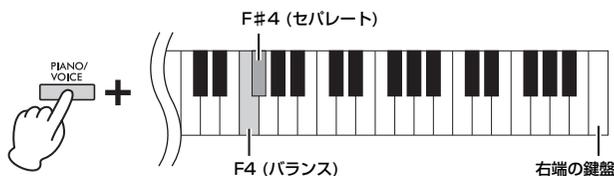
#### デュオ機能でのペダル効果

- ダンパーペダル: 右側鍵域のダンパー効果
- ソステヌートペダル: 左右両鍵域のダンパー効果
- ソフトペダル: 左側鍵域のダンパー効果

#### 左右の音の出カバランスを設定する(デュオタイプ)

デュオのとき、左右のスピーカーから鳴らす音のバランスを設定します。

- セバレート: 鍵盤の左側領域の音を左側のスピーカーから右側領域の音を右側のスピーカーから鳴らします。[PIANO/VOICE]を押したまま、F#4鍵盤を押します。
- バランス: 両奏者の演奏音を両方のスピーカーから自然なバランスで鳴らします。[PIANO/VOICE]を押したまま、F4鍵盤を押します。



#### 設定範囲:

-2~0~+2

#### 設定範囲:

-6~0~+6

#### NOTE

ヘッドホンも同様の設定になります。

#### NOTE

- デュアルがオンの状態で、デュオに入るとデュアルは解除されます。音色は第1音色になります。
- デュオをオンにすると、VRM Liteは無効になります。また「デュオタイプ」がセバレートのときは、リバートとステレオフィットニックオブティマイザーも無効になります。

#### 初期設定:

セバレート

### 3. デュオを解除するには、[PIANO/VOICE]を押したまま、[+R]と[-L]を同時に押し

ます。

# 曲(ソング)を再生する、練習する

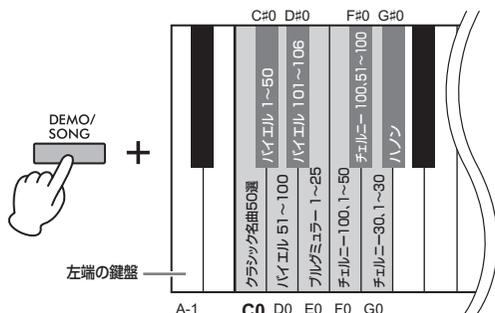
## クラシック名曲50選/レッスン曲を聞く

この楽器には、音色のデモ曲の他にクラシック名曲50選とレッスン曲の演奏データが入っています。

### 1. 曲の番号と曲集を調べます。

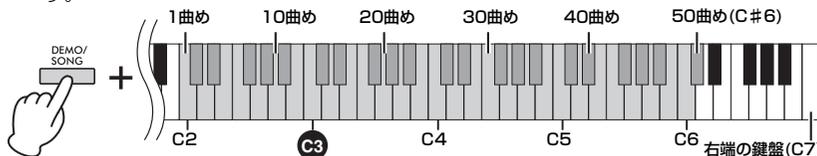
曲の番号と曲集は、ソング一覧(44ページ)、またはクイックオペレーションガイド(巻末)で確認できます。

### 2. [DEMO/SONG]を押したままC0~G#0鍵盤のいずれかを押して、曲集を選びます。



### 3. [DEMO/SONG]を押したままC2~C#6鍵盤のいずれかを押して、ソングの再生をスタートします。

C2~C#6鍵盤(以下参照)にはクラシック名曲50選/レッスン曲が割り当てられています。



再生中は[+R]、[-L]のランプが点灯し、[PLAY]のランプはテンポに合わせて点滅します。

曲は、選んだ曲集の中で順に連続して再生されます。

#### 1曲を繰り返し再生する

[DEMO/SONG]を押したまま、C2~C#6鍵盤のどれかを長押しします。操作音(15ページ)が2回鳴ると繰り返し再生が設定され、その曲が連続再生されます。

#### 再生中に曲を切り替える

[+R]または[-L]を押します。

1曲繰り返し再生中にこの操作をすると、次または前の曲が繰り返し再生されます。

#### 再生中にテンポを変更する

[METRONOME]を押したまま[+R]または[-L]を押して、1ずつテンポ値を増減します。そのほかの方法は、メトロノームの場合(20ページ)と同じです。

#### 曲の最初から再生する

曲の再生中、テンポを変更(上記)したあとで[+R]と[-L]を同時に押すと、そのままのテンポで曲の先頭から再生します。

#### NOTE

SONG(ソング) = 曲

#### 初期設定

クラシック名曲50選

#### NOTE

曲集を変更すると、電源を切るまでその設定が保持されます。

#### NOTE

- クラシック名曲50/レッスン曲の再生に合わせて、鍵盤を弾くことができます。その際、音色を変えることもできます。
- 選択している曲集によっては、すべての鍵盤にソングが割り当てられていないことがあります。ソング割り当てのない鍵盤を押しても何も反応いたしません。

## 4. [DEMO/SONG]または[PLAY]を押して、再生をストップします。

[PLAY]、[+R]、[-L]のランプが消灯します。

### パートを指定して片手練習する

音色のデモ曲(22ページ)以外のソングは、パートごとに再生のオン/オフを設定できます。[+R]をオフにすれば右手の練習が、[-L]をオフにすれば左手の練習ができます。

#### 1. クラシック名曲50選/レッスン曲(27ページ)またはユーザーソング(29ページ)を再生します。

#### 2. <sup>プレイ</sup>[PLAY]を押したまま、[+R]または[-L]を押してオフにします。

[PLAY]を押したまま、同じボタンを押すたびに再生のオン/オフが切り替わります。



#### NOTE

- 他の曲に切り替わると、両パートともオンにリセットされます。
- 連弾曲のパートの割り当てについては44ページをご覧ください。
- ユーザーソングは、右手パートと左手パートをそれぞれ指定して録音した(29ページ手順2)場合のみ、パートごとに再生のオン/オフができます。

#### 3. オフにしたパートを練習しましょう。

テンポを調節するには

必要に応じてテンポ調節ができます。詳細は20ページをご覧ください。

#### 4. [PLAY]を押して、再生をストップします。

### 最初の発音からすぐにスタートする(クイックプレイ)

最初の音の前に空白がある曲(弱起の曲など)を再生する場合に、実際に音が鳴るところから再生(オン)するか、休符や空白を含めて曲のデータどおりに再生(オフ)するかを選びます。

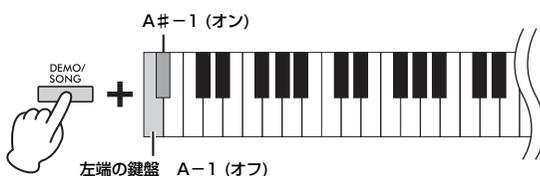
初期設定:  
オン

#### クイックプレイをオンにする

[DEMO/SONG]を押したままA#-1鍵盤を押すと、最初の発音、もしくはダンパーペダルの操作情報のところから再生します。

#### クイックプレイをオフにする

[DEMO/SONG]を押したままA-1鍵盤を押すと、休符や空白を含めて曲のデータどおりに再生します。



# 演奏を録音する

この楽器では、録音機能を使って自分の演奏を1曲、ユーザーソング(MIDI)として録音できます。演奏は、右手パートと左手パートの2つ(2トラック)を、個別に録音できます。

## 演奏を録音する

### 1. 音色を選んだり、拍子などを設定します。

音色の選択方法については、21ページをご覧ください。必要に応じてそのほかの設定(リバーブなど)も選んでください。

### 2. 録音モードに入ります。

#### かんたん録音

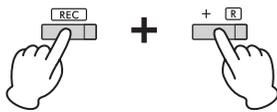
[REC]を押して録音モードに入ります。この場合、両手で演奏しても、自動的に右手パートに録音されます。

かんたん録音の場合、それまでの録音データは、右手パート、左手パートとも消えてしまいますので、ご注意ください。

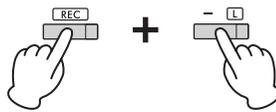


#### パートを指定して録音する

[REC]を押したまま、録音したいパートのボタン([+R]または[-L])を押して録音モードに入ります。



右手パートに録音する場合



左手パートに録音する場合

もう一方のパートにすでに録音データがある場合、録音と同時にパートの再生が始まりますので、それに合わせて録音できます。また、[PLAY]を押したまま、パートのボタン([+R]または[-L])を押すことで、パート再生のオン/オフを切り替えることができます。

#### 録音を中止する場合

もう一度[REC]を押します。

### 3. 鍵盤を弾く、または[PLAY]を押して、録音をスタートします。

録音中は、[REC]のランプが点灯し、録音しているパートのランプが現在のテンポに合わせて点滅します。

### 4. [REC]または[PLAY]を押して、録音をストップします。

[REC]、[PLAY]、[+R]、[-L]のランプが点滅し、保存中であることを示します。保存が終わるとランプが消灯し、録音モードは自動的に解除されます。

### 5. [PLAY]を押して、録音したソングを聞きます。

もう一度[PLAY]を押すと再生は止まります。

#### もう一方のパートに録音する場合

上記手順を繰り返します。手順2では、「パートを指定して録音」の方法で行います。

#### ご注意

この楽器で録音できる曲は1曲(2トラック)です。すでに録音データがある場合([+R]または[-L]のランプ点灯)、既存のデータは消えてしまうのでご注意ください。

#### NOTE

- スマートデバイスアプリ「スマートピアニスト」(2ページ)を使えば、デバイス上にMIDI録音、またはオーディオ録音でき、録音データも保存できます。
- メトロノームを鳴らしながら録音することもできます。ただしメトロノームの音は、録音されません。
- デュオを設定している場合(26ページ)、右奏者側は右手パートに、左奏者側は左手パートに録音されます。パートを選んで録音することはできません。
- 本体の容量が少ない場合、録音モードに入るとき[REC]と[PLAY]のランプが3秒間すばやく点滅します。

#### ご注意

データ保存中(すべてのボタンのランプが点滅中)は楽器の電源を切らないでください。録音中のデータだけでなく、すべての記憶内容が失われる原因になります。

#### 演奏記憶容量

この楽器に記憶できる容量は、およそ11,000音符です。

## 録音済みのユーザーソングの設定を変える

以下の項目については、録音終了後に変更できません。

- ・パートごとの設定: 音色(21ページ)、デュアル(25ページ)/デュオ(26ページ)の音量バランス、リバーブ深さ(23ページ)
- ・ソング全体の設定: テンポ(20ページ)、リバーブタイプ(23ページ)

1. 上記項目につき、必要な設定を行います。
2. <sup>レコード</sup>[REC]を押したまま、設定を変更したいパートのボタン ([+R] または [-L]) を押して、録音モードに入ります。  
[REC]、<sup>プレイ</sup>[PLAY]と指定したパートのランプが点滅します。  
この状態で[PLAY]または鍵盤を押さないでください。録音済みデータが消去されてしまいます。
3. [REC]を押したまま、[PLAY]を押して、録音モードを抜けます。  
[REC]、[PLAY]、[+R]、[-L]のランプが点滅します。  
保存が終わると、すべてのボタンのランプが消灯します。  
  
[PLAY]を押して、設定が変更になったか確認してみましょう。

## 録音した演奏を消去する

### ユーザーソング全体の消去

1. <sup>レコード</sup>[REC]を押したまま<sup>デモ</sup>[DEMO/<sup>ソング</sup>SONG]を押します。  
[REC]と[PLAY]が交互に点滅します。  
消去をキャンセルする場合は、[REC]を押します。
2. <sup>プレイ</sup>[PLAY]を押して、データを消去します。  
[REC]、[PLAY]、[+R]、[-L]のランプが点滅します。  
データの消去が終わると、すべてのボタンのランプが消灯します。

#### NOTE

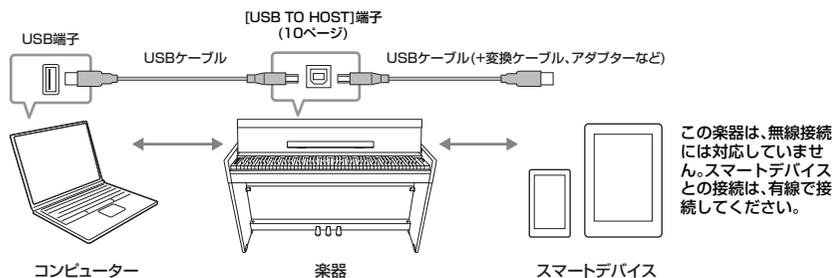
ユーザーソングがない場合は、[REC]と[PLAY]が約3秒間、すばやく点滅します。

### 特定パートの消去

1. [REC]を押したまま、[+R]または[-L]を押して、録音モードに入ります。  
[REC]、[PLAY]と選択されたパート([+R]または[-L])のランプが点滅します。
2. [PLAY]を押して録音を始めます(鍵盤は弾きません)。  
選択されたパート([+R]または[-L])のランプが点滅します。
3. [REC]または[PLAY]を押して録音をストップします。  
選択されたパートの全データが消去され、ランプが消灯します。

# スマートデバイスやコンピューターと接続して使う

楽器とコンピューター、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと接続することで、演奏情報のやりとりができるようになります。接続方法について詳しくは、電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」または「スマートデバイス接続マニュアル」をご覧ください(2ページ)。



## ご注意

USBケーブルを使って接続する場合は、ABタイプのものでご利用ください。また、3メートル未満のケーブルをご利用ください。USB3.0ケーブルは、ご利用できません。

## NOTE

MIDIに関する詳細は、電子マニュアルの「MIDIリファレンス」をご覧ください(2ページ)。

## スマートデバイスアプリを使う

楽器に対応のアプリを使うことにより、楽器をもっと便利に楽しむことができます。特に、専用の「スマートピアニスト」(無料)をスマートデバイスで使用すると、レッスン曲の譜面を見たり、外部から楽器本体の機能をコントロールすることができます。

対応のスマートデバイスやアプリについて詳しくは、以下のウェブサイトでご確認ください。

<https://jp.yamaha.com/kbdapps/>

## ご注意

スマートデバイスを不安定な場所に置かないでください。スマートデバイスが落下して破損するおそれがあります。

## NOTE

「スマートピアニスト」使用中は、楽器のボタンは使えません。「スマートピアニスト」を使って操作してください。

## オーディオデータを再生/録音する(USBオーディオインターフェイス機能)

スマートデバイスやコンピューターにあるオーディオデータを楽器で再生したり、楽器の演奏をオーディオデータとしてスマートデバイスやコンピューターに録音できます。Windows搭載のコンピューターで使用する場合は、Yamaha Steinberg USB Driverをコンピューターにインストールする必要があります。詳しくは、電子マニュアルの「コンピューターとつなぐ」をご覧ください(2ページ)。

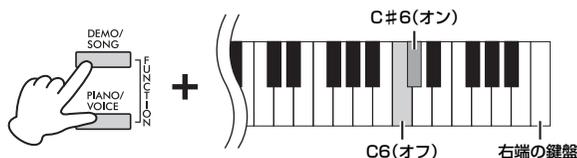
## NOTE

オーディオデータの入力音量は、スマートデバイスまたはコンピューター側で調節してください。

## オーディオループバックのオン/オフ

[USB TO HOST]端子からのオーディオ入力音を、楽器の演奏音に重ねて再度コンピューターなどに戻すか(オン)、戻さないか(オフ)を設定できます。

[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま、C6鍵盤を押すとオフ、C#6鍵盤を押すとオンになります。



## 初期設定:

オン

## ご注意

大きな音が発生する場合は、オーディオループバックをオフにしてご利用ください。

# データのバックアップと初期化

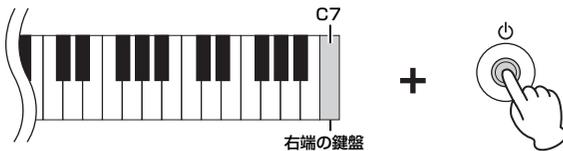
## 電源を切ったときに記憶されるデータ

下記の項目は、電源を切ってもその設定が記憶(バックアップ)されます。

- メトロノームの音量
- メトロノームの拍子
- タッチ感度
- チューニング
- インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC)のかかり具合
- インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC)のオン/オフ
- ステレオフォニックオブティマイザーのオン/オフ
- 鍵盤操作音のオン/オフ
- オートパワーオフ機能の有効/無効
- スピーカーのオン/オフ
- 自分で録音したソング(ユーザーソング)データ
- 音量制限のオン/オフ
- 左右の音のバランスを設定する(デュオタイプ)

## 初期化する

右端の鍵盤(C7)を押したまま電源を入れることにより、ユーザーソング以外のデータが初期化され、工場出荷時の状態になります。



### ご注意

初期化実行中([REC]、[PLAY]、[+R]、[-L]のランプ点滅中)は、電源を切らないでください。

### NOTE

この楽器が何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、いったん電源を切り、初期化を行なってください。

## 楽器のバージョンを確認する

お使いの楽器のバージョンを確認できます。[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したままBOの鍵盤を押します。現在の楽器のバージョンを英語で読み上げます。



ヤマハ製品では、機能や操作性向上のために、不定期に製品本体のファームウェアをアップデートすることがあります。本体ファームウェアのアップデートや最新情報については、製品ウェブサイトをご確認ください。

## 困ったときは

現象	考えられる原因と解決法
電源が勝手に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能(15ページ)が働いたためです。
本体の電源が入らない。	プラグが差し込まれていません。DCプラグを本体のDC IN端子に、電源プラグを家庭用(AC 100V)コンセントに、確実に差し込んでください(14ページ)。
[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」や「ポツッ」と音がする。	電気が流れたためです。故障ではありません。
本体から雑音が出る。	本体の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。本体の近くでは、携帯電話の電源を切ってください。
	スマートデバイスと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、スマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	音量(マスターボリューム)が下がっています(MIN側になっています)。 [MASTER VOLUME]つまみを上げてください(11ページ)。
	2つの[PHONES]端子のどちらかに、ヘッドホンまたは変換アダプターなどが接続されています。ヘッドホン(変換アダプター)を抜いてください(16ページ)。
	楽器本体のスピーカーがオフになっています。スピーカーの設定をノーマルまたはオンにしてください(16ページ)。
	音量制限がオンになっています。音量制限をオフにしてください(15ページ)。
	ローカルコントロールがオフになっています。ローカルコントロールをオンにしてください。詳細は電子マニュアル「MIDIリファレンス」をご覧ください(2ページ)。
ペダルが効かない。	ペダルコードのプラグが[TO PEDAL]端子にしっかりと差し込まれていません。本体の電源を切った状態で、ペダルコードのプラグを[TO PEDAL]端子に確実に差し込んでください。その際、プラグの金属部分が見えなくなるまで、しっかりと差し込んでください(37、40ページ)。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしています。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。異常ではありません。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	本体の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。異常ではありません。
楽器の起動時、ソングの選曲時、録音終了時などに[+R]と[-L]ランプが点滅する。	故障ではありません。楽器の内部処理に時間がかかっている場合に、[+R]と[-L]ランプが点滅することがあります。点滅中、楽器の操作はできないのでご注意ください。

# 組み立て方

YDP-165、YDP-145	35ページ
YDP-S55、YDP-S35	38ページ

組み立ての前に、必ず下記の注意事項をお読みください。

## 組み立てに関する注意

### ⚠ 注意

- 必ず2人以上で組み立ててください。
- 硬くて平らな場所で組み立ててください。
- 使う部品や向きに注意して、手順どおりに組み立ててください。
- ネジなどの小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。
- ネジは付属の指定サイズ以外のものは使用しないでください。異なるネジを使用すると、製品の破損や故障の原因になります。
- 解体は、組み立てと逆の手順で行ってください。

ネジのサイズに合ったプラス(+ )のドライバーを用意してください。



## 組み立て後チェックリスト

- 組み立て部品の余りはない。
  - 楽器がぐらぐらしない。
  - ペダルのアジャスターが床にぴったり付いている。
  - ペダルコード、電源コードのプラグが、確実に本体に差し込まれている。
- 上記いずれかにチェックがない場合には、組み立て手順を再度確認してください。

## 移動と設置

組み立て後、楽器を移動するときは、必ず2人以上で水平にして運んでください。また、大きな振動や衝撃を与えないでください。

再設置後は、組み立て後チェックリスト(左コラム)を確認してください。

引っ越しの際は、通常の荷物と同様に運べます。組み立てた状態でも、解体した状態でもかまいません。

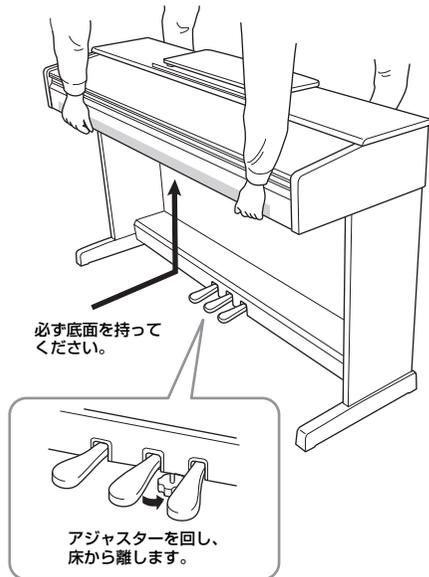
より良い音響をお楽しみいただくために、本体の背面を壁から5 cm以上離して設置することをおすすめします。

### ⚠ 注意

必ず本体の底面を持ってください。底面以外の部分を持って移動すると本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

### ご注意

楽器を移動する前には、必ずペダル下のアジャスターを回し、床から離してください。床を傷つける原因になります。



# YDP-165, YDP-145の組み立て方

組み立ての動画をご覧ください。

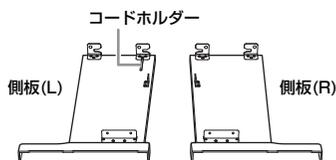
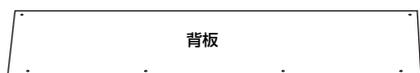
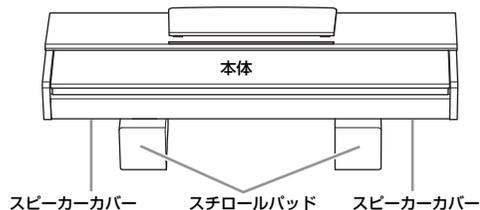


左のQRコードを読み取れない場合は、  
下記ウェブサイトへアクセスしてください。  
[https://4wrд.it/ydp\\_assembly\\_video1](https://4wrд.it/ydp_assembly_video1)

すべての部品がそろっているか確認します。

## ご注意

本体は、箱の中にあるスチロールパッドの上に置いてください。  
本体底面のスピーカーカバーにスチロールパッドが触れないように  
ご注意ください。



× 4  
頭が平らなネジ(6×20 mm)



× 4  
キャップ



× 2  
細いネジ(4×12 mm)



× 4  
先のとがったネジ(4×20 mm)



× 4  
太いネジ(6×16 mm)

### YDP-165



電源アダプター



電源コード

### ヘッドホンハンガーセット



ヘッドホンハンガー



× 2  
ネジ(4×10 mm)

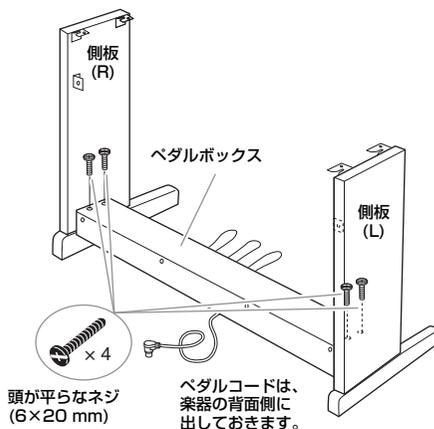
### YDP-145



電源アダプター

## 1. 側板をペダルボックスの両端に合わせ、頭が平らなネジ(6×20 mm)で軽く締めます(仮留め)。

このネジは手順3できつく締め直します。



× 4  
頭が平らなネジ(6×20 mm)

ペダルコードは、楽器の背面側に出しておきます。

## 2. 背板を取り付けます。

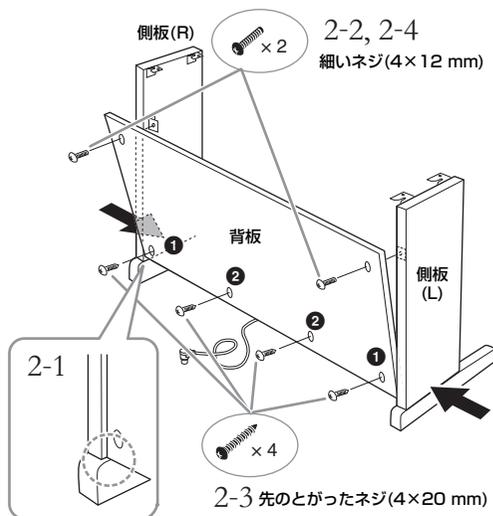
モデルによっては、背板の裏表で色が異なります。  
その場合、正面(ペダル側)から見た側が、本体と同じ色になるように取り付けます。

### 2-1 背板を側板の足のふちにのせます。

### 2-2 背板の上側を細いネジ(4×12 mm)で仮留めします。

### 2-3 側板の下部を左右から押しながら、背板の下側を外側から内側(①→②)の順に先のとがったネジ(4×20 mm)で固定します。

### 2-4 手順2-2で仮留めした背板の上側のネジをきつく締め直します。



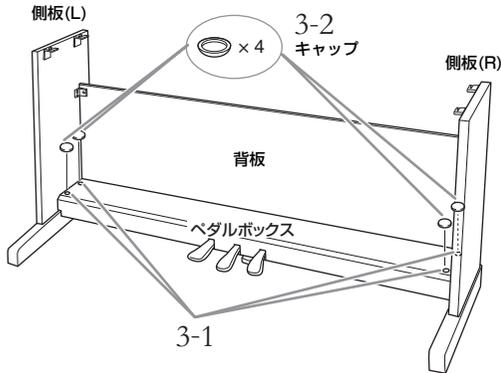
× 2  
2-2, 2-4  
細いネジ(4×12 mm)

× 4  
2-3 先のとがったネジ(4×20 mm)

### 3. ペダルボックスを固定します。

3-1 手順1で仮留めしたネジをきつく締め直します。

3-2 ネジの頭にキャップを付けます。



### 4. 本体をのせます。

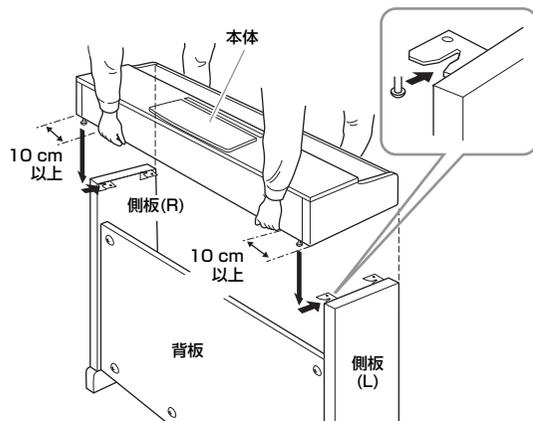
4-1 手をはさまないように必ず本体の端から10 cm以上内側の底面を持ちます。

4-2 本体と側板の前面の位置がそろるように、本体を側板の上に置きます。

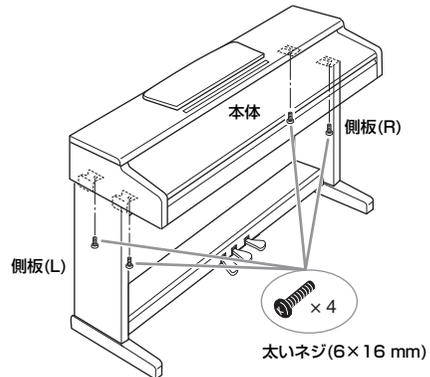
4-3 そのまま本体を前にスライドさせ、本体底面の金具を側板の金具にはめこみます。

#### ⚠ 注意

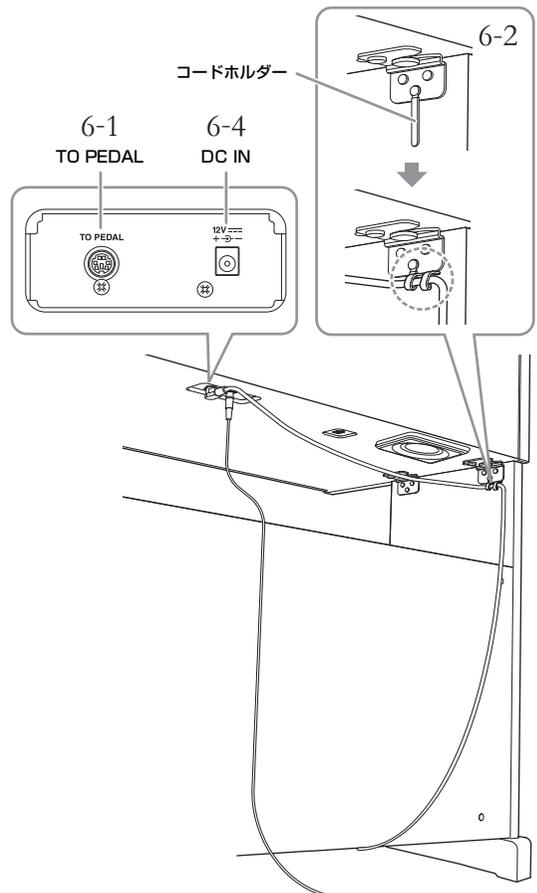
- 手をはさんだり、本体を落としたりしないようご注意ください。
- 指定した位置以外を持たないでください。



### 5. 本体を太いネジ(6×16 mm)で固定します。

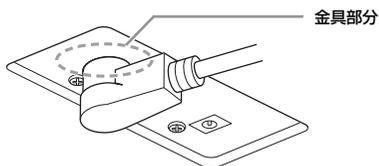


### 6. ペダルコードのプラグと電源プラグを接続します。



6-1 ペダルコードのプラグを背面から<sup>トッパ ペダル</sup>[TO PEDAL]端子に差し込みます。

プラグの金具部分が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。



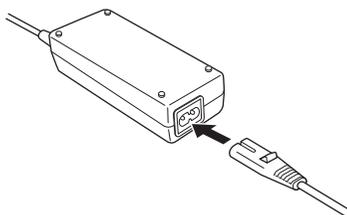
**ご注意**

しっかり差し込まれていない場合、ペダルが機能しない原因になります。

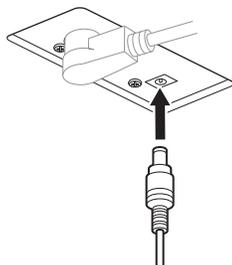
6-2 ペダルコードを、コードホルダーで巻き付けて固定します。

コードホルダーは側板(L)に付いています。

6-3 (YDP-165のみ)図のように電源コードを電源アダプターに差し込みます。

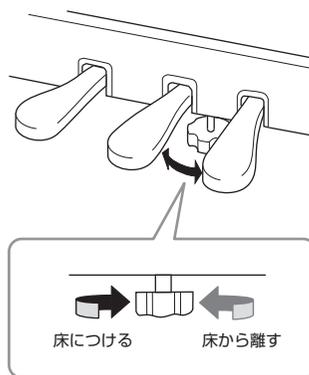


6-4 電源プラグをDC IN端子に差し込みます。

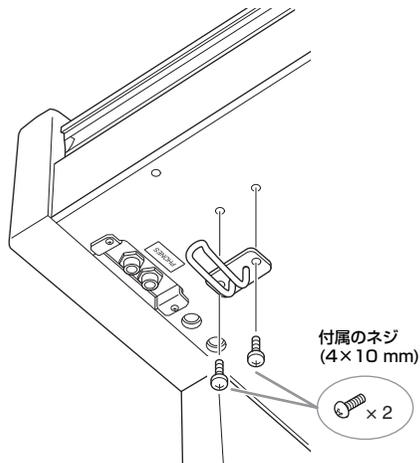


7. アジャスターを回して床にぴったり付けます。

ペダルを踏んだときにガタガタしないことを確認してください。



8. (YDP-165のみ)ヘッドホンハンガーを取り付けます。



# YDP-S55, YDP-S35の組み立て方

組み立ての動画をご覧ください。

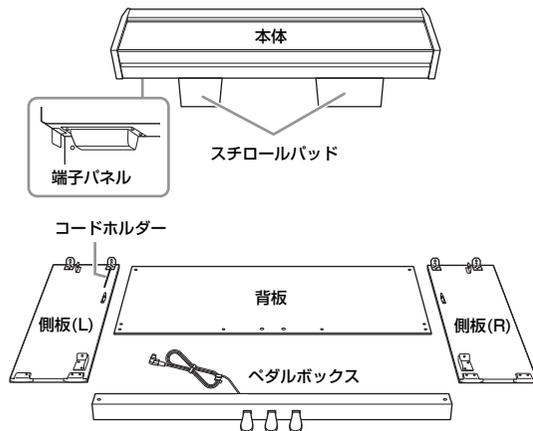


左のQRコードを読み取れない場合は、下記ウェブサイトへアクセスしてください。  
[https://4 wrd.it/ydp\\_assembly\\_video2](https://4 wrd.it/ydp_assembly_video2)

すべての部品がそろっているか確認します。

### ご注意

本体は、箱の中にあるスチロールパッドの上に置いてください。本体底面の端子パネルにスチロールパッドが触れないようにご注意ください。



× 2  
頭が平らなネジ(6×20 mm)



× 2  
キャップ



× 4 (YDP-S55)  
× 2 (YDP-S35)  
細いネジ(4×12 mm)



× 4  
長いネジ(6×25 mm)



× 2  
先のとがったネジ(4×20 mm)



× 4  
太いネジ(6×16 mm)

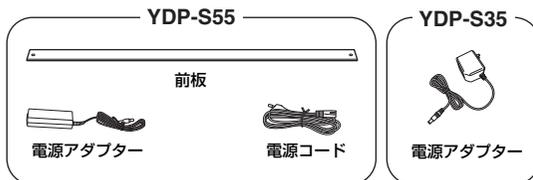


転倒防止用金具(L)



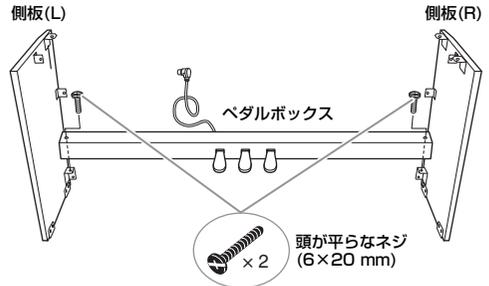
転倒防止用金具(R)

\*転倒防止用金具は地震対策用ではありません。



## 1. 側板をペダルボックスの両端に合わせ、頭が平らなネジ(6×20 mm)で軽く締めます(仮留め)。

このネジは手順3できつく締め直します。  
 ペダルコードは、楽器の背面側に出しておきます。



## 2. 背板を取り付けます。

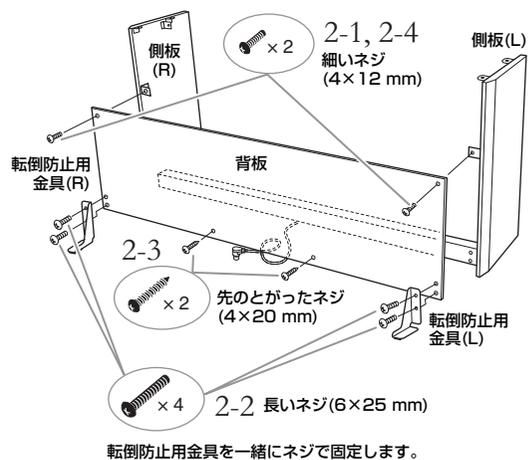
モデルによっては、背板の裏表で色が異なります。その場合、正面(ペダル側)から見た側が、本体と同じ色になるように取り付けます。

2-1 背板の上側を、細いネジ(4×12 mm)で仮留めします。

2-2 側板の下部を外側から押しながら、背板の下側の左右を、長いネジ(6×25 mm)で固定します。このとき、転倒防止用金具を一緒に固定します。

2-3 下側の残り2か所を、先のとがったネジ(4×20 mm)で固定します。

2-4 手順2-1で仮留めした背板の上側のネジをきつく締め直します。



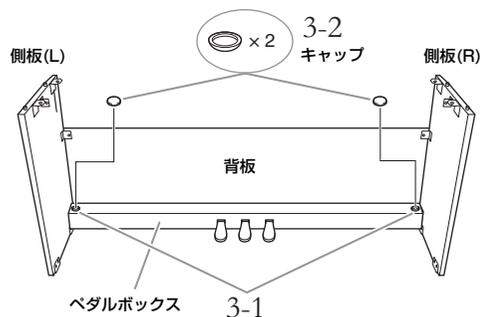
### ⚠ 注意

転倒防止用金具は、必ず取り付けてください。取り付けないと、本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげをしったりする原因になります。

### 3. ペダルボックスを固定します。

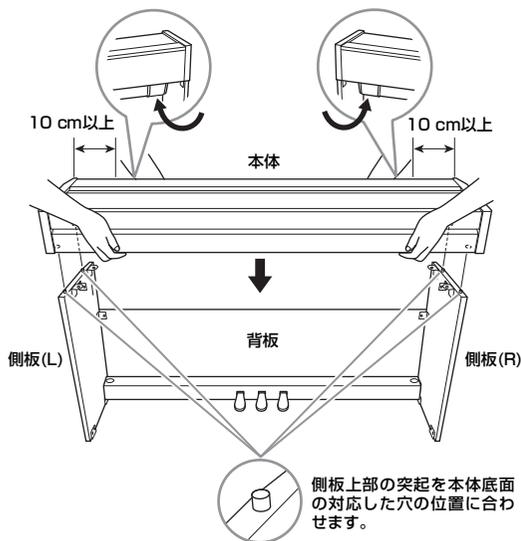
3-1 手順1で仮留めしたネジをきつく締め直します。

3-2 ネジの頭にキャップを付けます。



### 4. 本体をのせます。

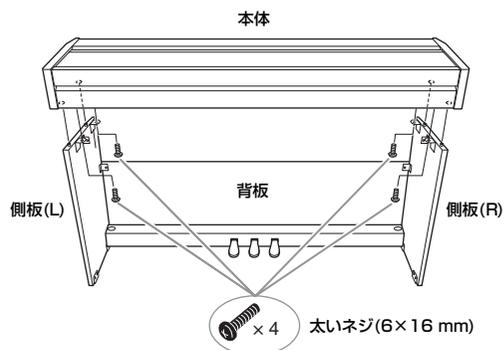
手をはさまないように必ず本体の端から10 cm以上内側の底面を持ちます。



#### ⚠ 注意

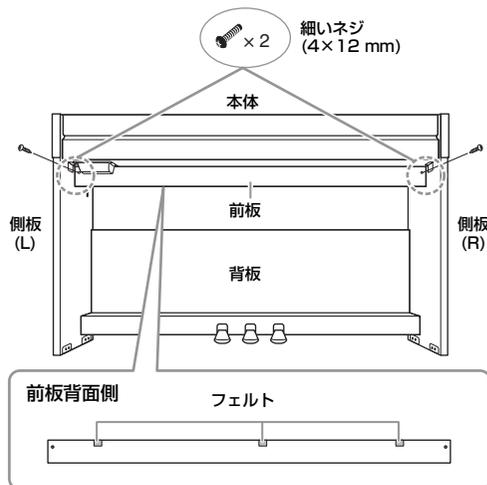
- 手をはさんだり、本体を落としたりしないようご注意ください。
- 指定した位置以外を持たないでください。

### 5. 本体を太いネジ(6×16 mm)で固定します。

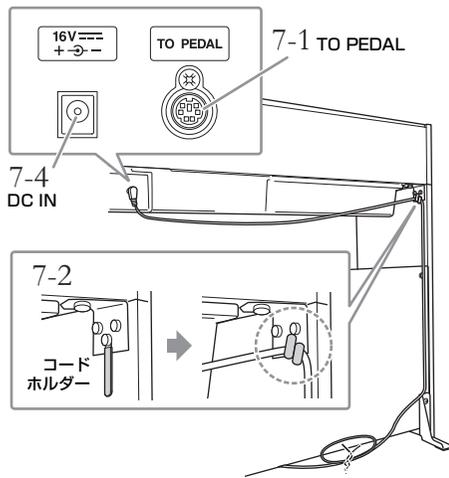


### 6. (YDP-S55のみ)前板のフェルトが付いていない面を正面(ペダル側)にして、細いネジ(4×12 mm)で固定します。

側板(L)と側板(R)の隙間が左右均等になるように取り付けます。



## 7. ペダルコードのプラグと電源プラグを接続します。



### 7-1 ペダルコードのプラグを背面から [TO PEDAL]端子に差し込みます。

プラグの金具部分が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。



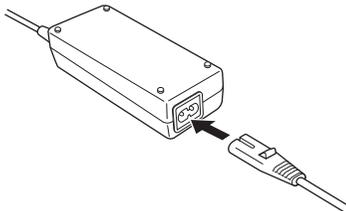
#### ご注意

しっかり差し込まれていない場合、ペダルが機能しない原因になります。

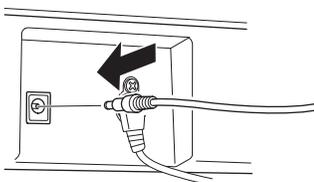
### 7-2 ペダルコードを、コードホルダーで巻き付けて固定します。

コードホルダーは側板(L)に付いています。

### 7-3 (YDP-S55のみ) 図のように電源コードを電源アダプターに差し込みます。

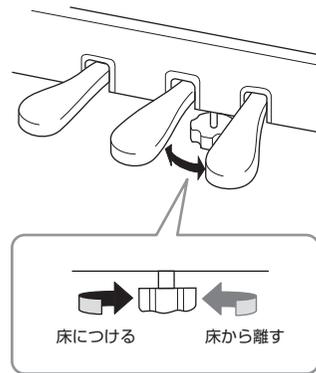


### 7-4 電源プラグをDC IN端子に差し込みます。



## 8. アジャスターを回して床にぴったり付けます。

ペダルを踏んだときにガタガタしないことを確認してください。



# 仕様

		YDP-165	YDP-145	YDP-S55	YDP-S35	
品名		電子ピアノ				
サイズ/質量	幅	1,357 mm		1,353 mm		
	高さ	849 mm (譜面立てを立てた場合: 1,003 mm)	815 mm (譜面立てを立てた場合: 969 mm)	792 mm (キーカバーを開けた場合: 976 mm)	792 mm (キーカバーを開けた場合: 968 mm)	
	奥行き	422 mm		309 mm (キーカバーを開けた場合: 317 mm) 転倒防止用金具を含めた場合: 382 mm	296 mm (キーカバーを開けた場合: 309 mm) 転倒防止用金具を含めた場合: 366 mm	
	質量	42.0 kg	38.0 kg	40.0 kg	37.0 kg	
操作子	鍵盤	鍵盤数	88			
		鍵盤種	グレードハンマー3 (GH3)鍵盤 象牙調・黒檀調 仕上げ	グレードハンマー スタンダード(GHS) 鍵盤 黒鍵マット仕上げ	グレードハンマー3 (GH3)鍵盤 象牙調・黒檀調 仕上げ	グレードハンマー スタンダード(GHS) 鍵盤 黒鍵マット仕上げ
		タッチ感度	ハード/ ミディアム/ ソフト/ フィックス			
	ペダル	ペダル数	3			
		ハーフペダル	○ (ダンパーペダル)			
		ペダル機能	ダンパー、ソステヌート、ソフト			
パネル	言語	英語				
本体	キーカバー (鍵盤蓋)	スライド式		回転式		
	譜面立て	○				
	譜面止め	○			-	
音源/音色	音源	ヤマハ CFXサンプリング				
	ピアノ音源の効果	バーチャル・レゾナンス・モデリング ライト (VRM Lite)	○			
		キーオフサンプリング	○			
		スームスリリース	○	-	○	-
	最大同時発音数	192				
プリセット	音色数	10				
効果	タイプ	リバーブ	4種類			
		インテリジェント・アコースティック・コントロール (IAC)	○			
		ステレオフォニック オプティマイザー	○			
	ファンクション	デュアル	○			
デュオ		○				
録音/再生 (MIDIソング)	プリセット	内蔵曲数				
	録音	音色デモ曲: 10曲、クラシック曲: 50曲、レッスン曲: 303曲				
		曲数	1			
		トラック数	2			
	フォーマット	データ容量	約150 KB (約11,000音符)	約100 KB (約11,000音符)	約150 KB (約11,000音符)	約100 KB (約11,000音符)
再生		SMF (フォーマット 0、フォーマット 1)				
ファンクション	全体設定	メトロノーム	○			
		テンポ	5~280			
		トランスポーズ	-6~0~+6			
		チューニング	414.8~440.0~466.8 Hz (約0.2 Hz単位)			
		USBオーディオ インターフェイス機能	44.1 kHz, 24 bit, ステレオ			
接続端子	DC IN	16 V	12 V	16 V	12 V	
	ヘッドホン	ステレオ標準フォーン端子 (× 2)				
	USB TO HOST	○				
音響	アンプ出力	20 W × 2	8 W × 2	20 W × 2	8 W × 2	
	スピーカー	12 cm × 2				

		YDP-165	YDP-145	YDP-S55	YDP-S35
電源部	電源アダプター	PA-300C (出力: DC 16 V、 2.4 A)	PA-150B またはヤマハ推奨の 同等品(出力: DC 12 V、1.5 A)	PA-300C (出力: DC 16 V、 2.4 A)	PA-150B またはヤマハ推奨の 同等品(出力: DC 12 V、1.5 A)
	消費電力	13 W (電源アダプター PA-300C使用時)	9 W (電源アダプター PA-150B使用時)	13 W (電源アダプター PA-300C使用時)	9 W (電源アダプター PA-150B使用時)
	オートパワーオフ	○			
付属品		取扱説明書(本書)			
		クラシック名曲50選(楽譜集)			
		電源アダプター： PA-300C	電源アダプター： PA-150B (またはヤマハ推奨 の同等品)	電源アダプター： PA-300C	電源アダプター： PA-150B (またはヤマハ推奨 の同等品)
		電源コード	—	電源コード	—
		ヘッドホン		—	—
		イス		—	—
		保証書			
製品登録のご案内					
別売品	ヘッドホン(HPH-150/HPH-100/HPH-50)、電源アダプター(PA-300C)	ヘッドホン(HPH-150/HPH-100/HPH-50)、電源アダプター(PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品)	ヘッドホン(HPH-150/HPH-100/HPH-50)、電源アダプター(PA-300C)	ヘッドホン(HPH-150/HPH-100/HPH-50)、電源アダプター(PA-150Bまたはヤマハ推奨の同等品)	

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

## Apache License 2.0

Copyright (c) 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at [www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0](http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0)

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

## Modified BSD license

COPYRIGHT(c) 2016 STMicroelectronics

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of STMicroelectronics nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

# 索引

## H

Hz (ヘルツ) .....24

## I

IAC .....17

## M

MIDIリファレンス .....2

## U

[USB TO HOST]端子 .....11

USBオーディオインターフェイス機能 .....31

## V

VRM Lite .....19

## イ

インテリジェント・アコースティック・コントロール(IAC) .17

## オ

オーディオループバック .....31

オートパワーオフ .....15

オクターブ .....25

音色 .....21

音色リスト .....21

音量(メトロノーム) .....20

音量制限 .....15

音量バランス .....25

## カ

各部の名称と機能 .....10

片手練習 .....28

## キ

キー(調) .....24

キーカバー .....12, 13

## ク

クイックオペレーションガイド .....48

クイックプレイ .....28

組み立て方 .....34

クラシック名曲50選 .....27, 44

## ケ

現在のテンポの読み上げ .....20

鍵盤操作音 .....15

鍵盤蓋

→キーカバー .....12, 13

## コ

困ったときは .....33

コンピューター .....31

コンピューターとつなぐ .....2

## サ

再生 .....27

## シ

仕様 .....41

消去 .....30

初期化 .....32

## ス

ステレオフォニックオブティマイザー .....16

スピーカーのオン/オフ .....16

スマートデバイス .....31

スマートデバイス接続マニュアル .....2

スマートピアニスト .....2

## ソ

ソステヌートペダル .....18

ソフトペダル .....18

ソング .....27

## タ

タッチ感度 .....19

ダンパーペダル .....18

## チ

チューニング .....24

## テ

デモ曲 .....22

デモ曲リスト .....22

デュアル .....25

デュオ .....26

電源 .....14

電源アダプター .....14

電子マニュアル(PDF) .....2

転倒防止用金具 .....38

テンポの調節 .....20

## ト

トランスポーズ .....24

取扱説明書 .....2

## ハ

バージョン .....32

バックアップ .....32

## ヒ

左手の練習 .....28

拍子 .....20

## フ

付属品 .....2

蓋

→キーカバー .....12, 13

譜面立て .....12, 13

## ヘ

ペダル .....18

ヘッドホン .....16

## ミ

右手の練習 .....28

## メ

メトロノーム .....20

## ユ

ユーザーソング .....29

## リ

リバーブ .....23

リバーブタイプリスト .....23

リバーブの深さ(かかり具合) .....23

## レ

レッスン曲 .....44

## ロ

録音 .....29

# ソング一覧

## クラシック名曲50選

No.	曲名	作曲者
<b>アレンジ曲</b>		
1	カノン	J. パッヘルベル
2	G線上のアリア	J. S. バッハ
3	主よ、人の望みの喜びよ	J. S. バッハ
4	きらきら星	トラディショナル
5	ピアノソナタ 第17番「テンペスト」第3楽章	L. v. ベートーヴェン
6	歓喜の歌	L. v. ベートーヴェン
7	子守唄	F. P. シューベルト
8	華麗なる大円舞曲	F. F. ショパン
9	英雄ポロネーズ	F. F. ショパン
10	ラ・カンパネラ	F. リスト
11	愛のあいさつ	E. エルガー
12	家路	A. ドヴォルザーク
13	シシリエンヌ	G. U. フォーレ
14	月の光	C. A. ドビュッシー
15	木星(組曲「惑星」)	G. ホルスト
<b>連弾曲</b>		
16	メヌエット (アイネ・クライネ・ナハトムジーク)	W. A. モーツァルト
17	メヌエット ト長調	L. v. ベートーヴェン
18	トルコ行進曲	L. v. ベートーヴェン
19	ピアノ協奏曲 第1番 第2楽章	F. F. ショパン
20	くるみ割り人形メドレー	P. I. チャイコフスキー
<b>原曲</b>		
21	前奏曲(平均律第1巻第1番)	J. S. バッハ
22	メヌエット ト長調	J. S. バッハ
23	ピアノソナタ 第15番 第1楽章	W. A. モーツァルト
24	トルコ行進曲	W. A. モーツァルト
25	ピアノソナタ 第8番「悲愴」第2楽章	L. v. ベートーヴェン
26	エリーゼのために	L. v. ベートーヴェン
27	ピアノソナタ 第14番「月光」第1楽章	L. v. ベートーヴェン
28	即興曲 作品90 第2番	F. P. シューベルト
29	春の歌	J. L. F. メンデルスゾーン
30	幻想即興曲	F. F. ショパン
31	別れの曲	F. F. ショパン
32	革命のエチュード	F. F. ショパン
33	小犬のワルツ	F. F. ショパン
34	ノクターン 第2番 変ホ長調	F. F. ショパン
35	ノクターン 第20番 嬰ハ短調 [遺作]	F. F. ショパン
36	トロイメライ	R. シューマン
37	舟歌	P. I. チャイコフスキー
38	乙女の祈り	T. バダジェフスカ
39	愛の夢 第3番	F. リスト
40	花の歌	G. ランゲ
41	ユーモレスク	A. ドヴォルザーク
42	アリエッタ	E. H. グリーグ
43	タンゴ(スペインより)	I. アルベニス
44	エンターテイナー	S. ジョプリン

No.	曲名	作曲者
45	メイプル・リーフ・ラグ	S. ジョプリン
46	亜麻色の髪の乙女	C. A. ドビュッシー
47	アラバスク 第1番	C. A. ドビュッシー
48	ケークウォーク	C. A. ドビュッシー
49	ジユトゥヴ	E. サティ
50	ジムノペディ 第1番	E. サティ

## レッスン曲

No.	曲集名	No./作品名	作曲者
1~50	バイエルピアノ 教則本	第1~50番	F. バイエル
1~50		第51~100番	
1~6		第101~106番	
1~25	ブルグミュラー 25の練習曲	1 素直な心	J. F. ブルグ ミュラー
		2 アラバスク	
		3 牧歌	
		4 子供の集会	
		5 無邪気	
		6 進歩	
		7 清い流れ	
		8 優美	
		9 狩猟	
		10 やさしい花	
		11 せきれい	
		12 さようなら	
		13 なぐさめ	
		14 スティリアの女	
		15 バラード	
		16 小さな嘆き	
		17 おしゃべり	
		18 心配	
		19 アベ マリア	
		20 タランテラ	
		21 天使の声	
		22 舟歌	
		23 帰途(かえりみち)	
		24 つばめ	
		25 貴婦人の乗馬	
1~50	チェルニー 100番練習曲	第1~50番	C. チェルニー
1~50		第51~100番	
1~30	チェルニー 30番練習曲	第1~30番	C. チェルニー
1~20 21~42	ハノンピアノ 教本	第1部 第1~20番、 第1番の変奏 第1~22番	C-L. ハノン

### 連弾曲について

以下のソングは連弾曲です。

- ・クラシック名曲50選 No.16~20
- ・バイエルピアノ教則本 第1~11、32~34、41~44、63~64、86~87

連弾曲では、右手パート([+R])が第一奏者の右手、左手パート([-L])が第一奏者の左手になります。第二奏者/パートは(両手とも常時再生され、)オフにはできません。(クラシック名曲50選/レッスン曲に適用)

## 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

### ● 保証書

本製品には保証書が付いています。「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類(領収書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

### ● 保証期間

保証書をご覧ください。

### ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

#### 有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

### ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

### ● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

### ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとおわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

### ● 修理に関するお問い合わせ

#### ヤマハ修理ご相談センター

  
ナビダイヤル(全国共通番号)  
**0570-012-808**

ナビダイヤル® ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL **053-460-4830** へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX 東日本 (北海道/東北/関東/甲信越/東海)  
03-5762-2125  
西日本 (北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)  
06-6649-9340

### ● 修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)  
\* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

#### 東日本サービスセンター

〒143-0006  
東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT 京浜 E 棟 A-5F  
FAX 03-5762-2125

#### 西日本サービスセンター

〒556-0011  
大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F  
FAX 06-6649-9340

\* 名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

### ◆ 電子ピアノの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

#### お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

  
ナビダイヤル(全国共通番号)  
**0570-006-808**  
ナビダイヤル® ※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL **053-460-5272** へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<https://jp.yamaha.com/support/>

### ◆ ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社ホームページ  
<https://jp.yamaha.com/>  
ヤマハピアノ・電子ピアノサイト  
<https://jp.yamaha.com/piano/>  
ヤマハ サポート・お問い合わせ  
<https://jp.yamaha.com/support/>  
ヤマハミュージックデータショップ  
<https://yamhamusicdata.jp/>

### ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

\* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

# MEMO

# ARIUS YDP-165, YDP-145, YDP-S55, YDP-S35 クイックオペレーションガイド

## 3 ×メトロノームの設定

**×メトロノームのテンポ読み上げ** A#1 C#0 D#0 E0 F0 G0 A0 B0 C1 D1 E1 F1 G1 A1 B1 C2 D2 E2 F2 G2 A2 B2 C#3 D#3 E3 F3 G3 A3 B3 C4 D4 E4 F4 G4 A4 C5

**×メトロノーム/プリセットソングのテンポ** C#1 D#1 F#1 G#1 A#1 C#2 D2 E2 F2 G2 A2 B2 C#3 D#3 E3 F3 G3 A3 B3 C4 D4 E4 F4 G4 A4 C5

**×メトロノームの拍子** F#2 G#2 A#2 C#3 D#3 E3 F3 G3 A3 B3 C4 D4 E4 F4 G4 A4 C5

**×メトロノームの音量** F#4 G#4 A#4 C#5 D#5 E5 F5 G5 A5 B5 C6 D6 E6 F6 G6 A6 C7

テンポを1ずつ上げる  
METRONOME + [RE]

テンポを1ずつ下げる  
METRONOME + [-]



## 4 その他の設定

**鍵盤操作音** A#-1 C#0 D#0 E0 F0 G0 A0 B0 C1 D1 E1 F1 G1 A1 B1 C2 D2 E2 F2 G2 A2 B2 C#3 D#3 E3 F3 G3 A3 B3 C4 D4 E4 F4 G4 A4 C5

**オートパワーオフ** F#0 G#0 A#0 無効 / パリソフ読み上げ / 有効

**バージョン確認** C#1 D#1 F#1 G#1 A#1 440.0 Hz

**チューニング** C#1 D#1 F#1 G#1 A#1 442.0 Hz

**1ACのかがり異音** C#2 D#2 F#2 G#2 A#2 1ずつ下げる / 初期設定 / 1ずつ上げる

**ローカルコントロール** F#3 G#3 A#3 C#4 D#4 F#4 G#4 A#4 0 (標準) / -1 / -2 / -3 / -4 / -5 / -6 / +1 / +2 / +3 / +4 / +5

**プログラムチェンジ** C#4 D#4 F#4 G#4 A#4

**コントロールチェンジ** C#4 D#4 F#4 G#4 A#4

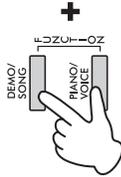
**MIDI送信チャンネル** C#4 D#4 F#4 G#4 A#4

**MIDI受信チャンネル** C#4 D#4 F#4 G#4 A#4

**スピーカー** F#5 G#5 A#5 C#6 D#6 F#6 G#6 A#6

**オーディオレベルバツク** C#6 D#6 F#6 G#6 A#6

**音量制限** F#6 G#6 A#6

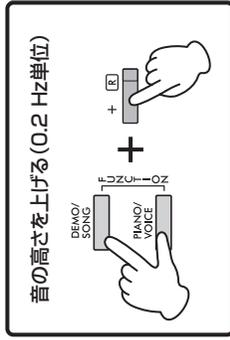


## 5 チューニング

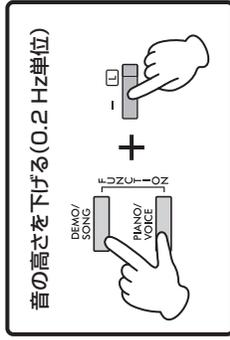
[DEMO/SONG]と[PIANO/VOICE]を同時に押したまま[+]と[-]を以下のように使用して、音の高さを調整します。

## 6 デュオの設定

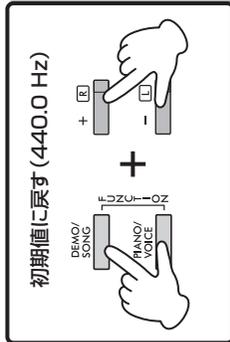
[PIANO/VOICE]を押ししたまま[+]と[-]を同時に押して、デュオのオン/オフを切り替えます。



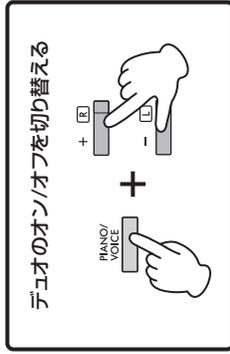
音の高さを上げる (0.2 Hz単位)



音の高さを下げる (0.2 Hz単位)



初期値に戻す (440.0 Hz)



デュオのオン/オフを切り替える



該当のボタンを押したまま、グリーの鍵盤のどれかを押して設定します。

### 1 ソング再生

**クイックソング**

クラシック名曲50選

バイエル 1~50

バイエル 51~100

バイエル 101~106

ブルグミュラー 1~25

チェルニー100, 1~50

チェルニー30, 1~30

チェルニー100, 51~100

ハノン

**曲集選択**

クラシック名曲50選

バイエル 1~50

バイエル 51~100

バイエル 101~106

ブルグミュラー 1~25

チェルニー100, 1~50

チェルニー30, 1~30

チェルニー100, 51~100

ハノン

**デモ曲**

CFX グランド

ポップグランド

DX エレビ

ハープシコード

パイプオルガン

ストリングス

メロークランド

ステージエレビ

ビブラフォン

ジャズオルガン

**クラシック名曲50選/ソング曲**

クラシック名曲50選

バイエル 1~50

バイエル 51~100

バイエル 101~106

ブルグミュラー 1~25

チェルニー100, 1~50

チェルニー30, 1~30

チェルニー100, 51~100

ハノン

1 カノン

2 G線上のソナタ

3 主よ、人の望みの喜びよ

4 さらさら星

5 ピアノソナタ 第17番「ランズハット」第3楽章

6 牧童の歌

7 子守唄

8 童謡「なるたけ大団圓」

9 英雄ポロネーズ

10 ラ・カンパネラ

11 愛のあいさつ

12 霧路

13 シシエソナ

14 月の光

15 木霊 (組曲「惑星」)

16 ヌヌエットのオネオネオ「ネオハバ」

17 ヌヌエット「ト長調」(「オネオネ」)

18 トロイ行進曲(「オネオネ」)

19 ピアノ協奏曲 第1番 第2楽章

20 幻想曲(「オネオネ」)

21 前奏曲(平均律第1巻第1番)

22 ヌヌエット「ト長調」(「S」)

23 ピアノソナタ 第15番 第1楽章

24 トロイ行進曲(W.A.モーツァルト)

25 ピアノソナタ 第9番「悲劇」第2楽章

26 エルベのための

27 ピアノソナタ 第14番「月光」第1楽章

28 和奏曲「作品9」第2番

29 春の歌

30 幻想曲(「オネオネ」)

31 別れの曲

32 革命のエチュード

33 小水のワルツ

34 リンターン 第2番 変奏長調

35 リンターン 第0番 変奏「短調」(進行)

36 トロイメライ

37 舟歌

38 乙女の祈り

39 愛の夢 第3番

40 花の歌

41 ヌヌエット

42 トロイメライ

43 タンゴ(「オネオネ」)

44 エンターテインナー

45 メイフェル・ウィーク

46 亜麻色の髪の乙女

47 ランズハット 第1番

48 ランズハット

49 シュトラー

50 シムルンバチ 第1番

**ソング曲**

1~50 ハンデル 第1~50番

1~50 ハンデル 第51~100番

1~6 バイエル 第101~106番

1~25 フリゲル 第1~25番

1~50 チェルニー 100番 第1~50番

1~50 チェルニー 100番 第51~100番

1~30 チェルニー 30番 第1~30番

1~20 ハノン 第1部 第1~20番、第1番の變奏 第1~22番

21~42

### 2 音色の設定

**PIANO/VOICE**

+

**音色**

CFX グランド

ポップグランド

DX エレビ

ハープシコード

パイプオルガン

ストリングス

メロークランド

ステージエレビ

ビブラフォン

ジャズオルガン

**ピアノの種類**

リサイタルホール

サロン

オフ

1ずつ下げる

1ずつ上げる

初期設定

**ピアノの深さ**

初期設定

**VRM Lite**

オン

**デジタルオネオネ**

オン

**デュオタイプ**

セパレート

**音量バランス**

初期設定

**オクターブシフト**

初期設定(第2音色)

初期設定(第1音色)

**タッチ感度**

ミディアム

フィックス

A-1 B-1 C0 D0 E0 F0 G0 A0 B0 C1 D1 E1 F1 G1 A1 B1 C2 D2 E2 F2 G2 A2 B2 C3 D3 E3 F3 G3 A3 B3 C4 D4 E4 F4 G4 A4 B4 C5 D5 E5 F5 G5 A5 B5 C6 D6 E6 F6 G6 A6 B6 C7